

2026年3月期 第2四半期決算説明会資料

株式会社オービックビジネスコンサルタント(証券コード:4733)

2025年10月29日

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。
又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。



Index

1.	2026年3月期第2四半期 主要な指標	P. 2
2.	2026年3月期第2四半期 決算の概要	P. 10
3.	株主還元	P. 14
4.	2026年3月期 事業戦略	P. 16
	Appendix	P. 31

1. 2026年3月期第2四半期 主要な指標



主要な指標

ARR※1

425 億円('25.9月末)

379 億円('24.9月末)

稼働システム数※3

26.5 万システム('25.9月末)

(内、クラウド、Edge 13.2万システム)

27.4 万システム('24.9月末)

(同11.7万システム)

前受収益残高

316 億円('25.9月末)

311 億円('24.9月末)

売上高

249 億円('26.3月期
上期)

227 億円('25.3月期
上期)

クラウドARPU※2

562 千円('25.9月末)

507 千円('24.9月末)

継続収益比率※4

83.7 % ('25.9月期)

81.9 %('24.9月期)

契約継続率※5

99.4 % ('25.6月期)

99.3 %('24.6月期)

営業利益

112 億円('26.3月期
上期)

101 億円('25.3月期
上期)

※1 :ARR(Annual Recurring Revenue) = 各四半期末月のMRRの12倍で計算。

MRR(Monthly Recurring Revenue) = 月額継続収益(契約により一定期間にわたり計上される売上、すなわち、「ソリューション(利用料型)」及び「オンプレミス保守」の月額売上金額の合計)。

※2 :ARPU(Average Revenue Per User) = クラウド(SaaS、IaaS、奉行クラウドEdge)を利用している企業の1企業あたり月額平均単価の12倍で計算。

※3 :稼働システム数は、単数もしくは複数のライセンスを1つの単位として納入したシステムを1単位とした数。

※4 :継続収益(「ソリューション(利用料型)」及び「オンプレミス保守」の月額売上高の合計)を全社売上高で除して算出。

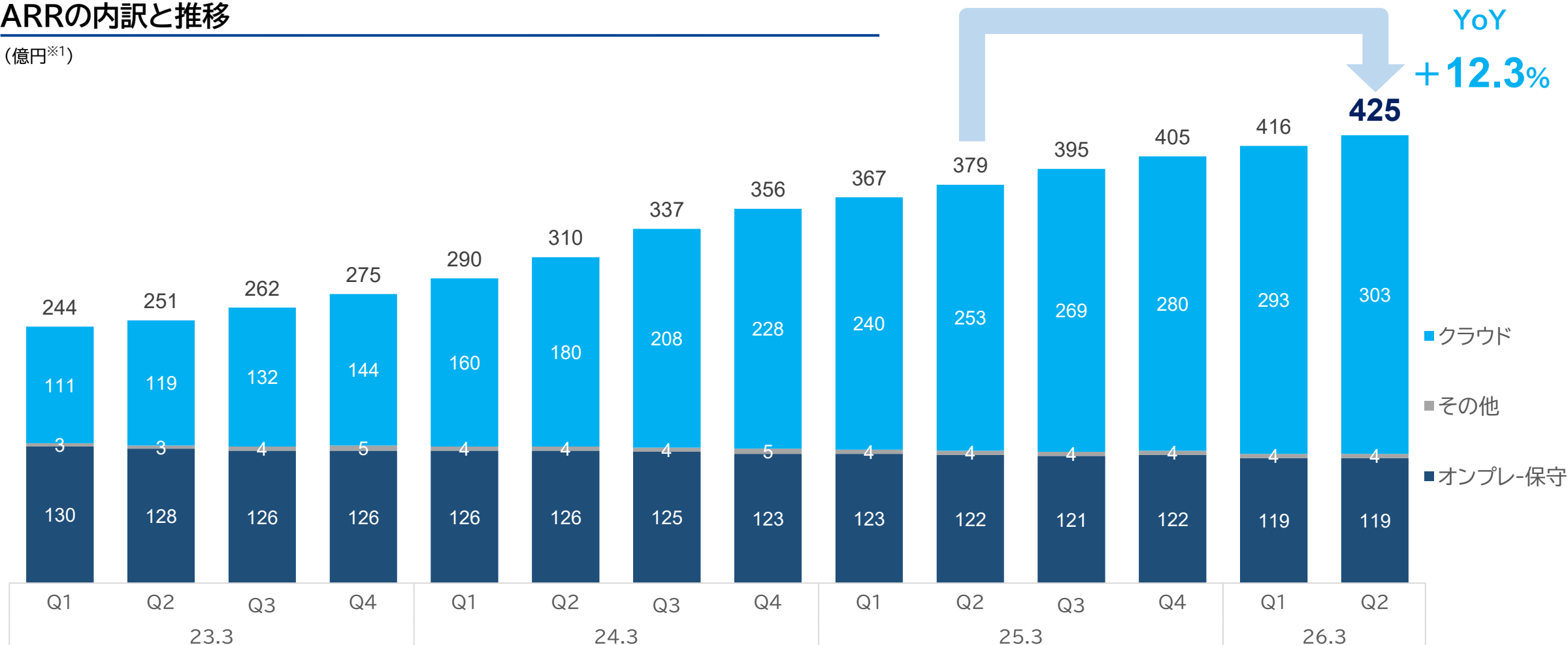
※5 :継続収益型サービス(「ソリューション(利用料型)」及び「オンプレミス保守」)を対象に、月次解約率(=当月解約により減少するMRR÷前月のMRR)の年間平均より契約継続率を算出。

ARRの推移

クラウドユーザー伸長により、前期比12.3%の増加

ARRの内訳と推移

(億円※1)



※1：億円未満四捨五入

クラウド収益の推移

クラウドARR・売上高いずれも成長を継続、SaaSの伸びが牽引

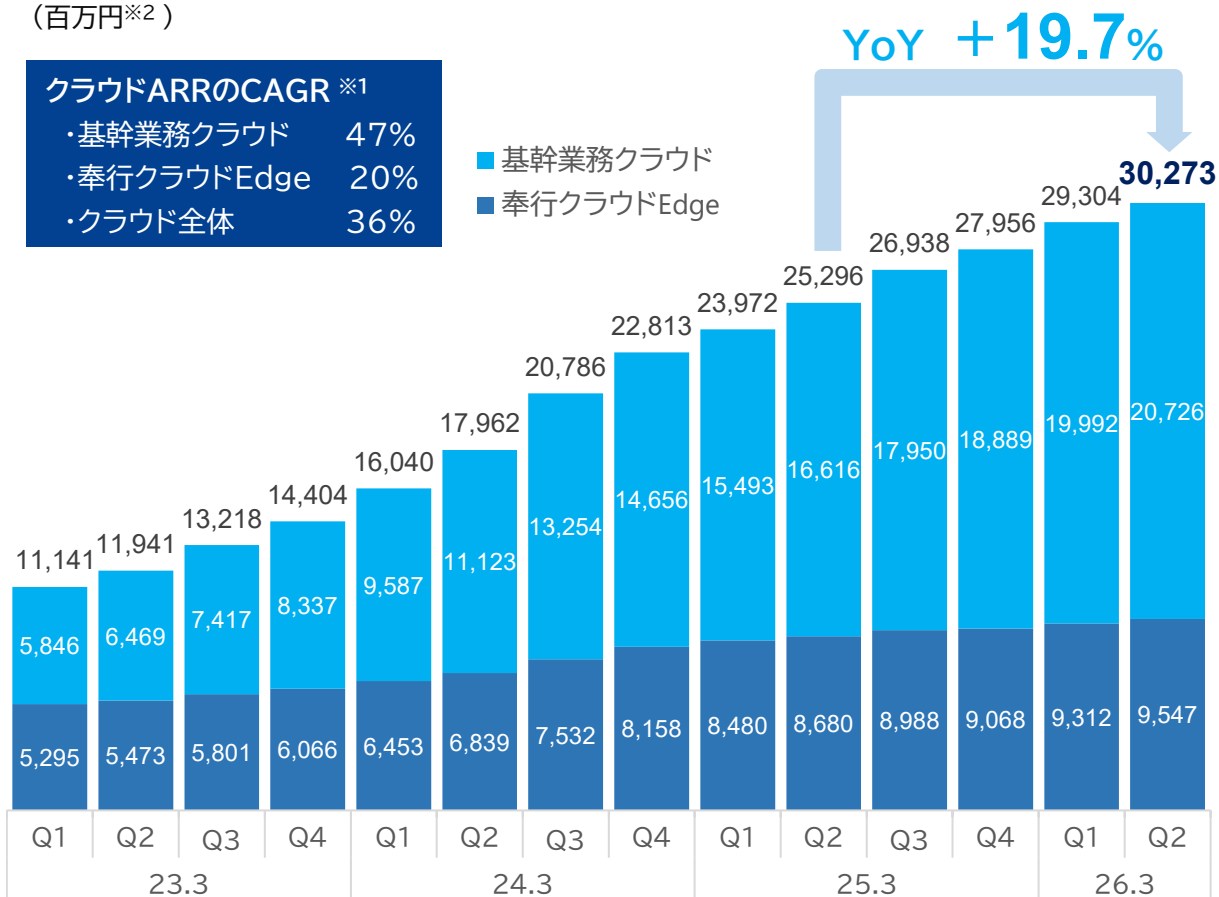
クラウドARRの推移と年間平均伸び率(CAGR)※1

(百万円※2)

クラウドARRのCAGR ※1

- ・基幹業務クラウド 47%
- ・奉行クラウドEdge 20%
- ・クラウド全体 36%

- 基幹業務クラウド
- 奉行クラウドEdge



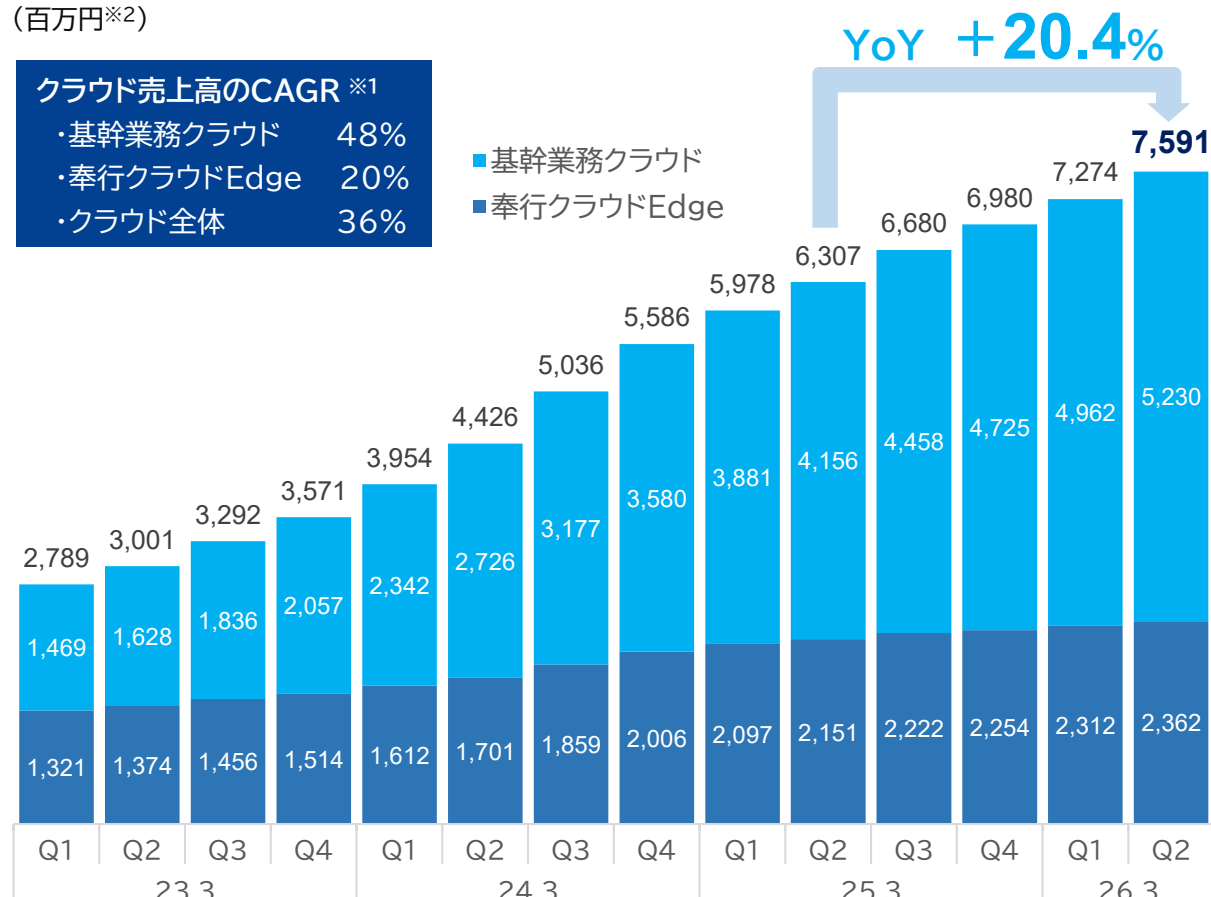
クラウド四半期売上高の推移と年間平均伸び率(CAGR)※1

(百万円※2)

クラウド売上高のCAGR ※1

- ・基幹業務クラウド 48%
- ・奉行クラウドEdge 20%
- ・クラウド全体 36%

- 基幹業務クラウド
- 奉行クラウドEdge



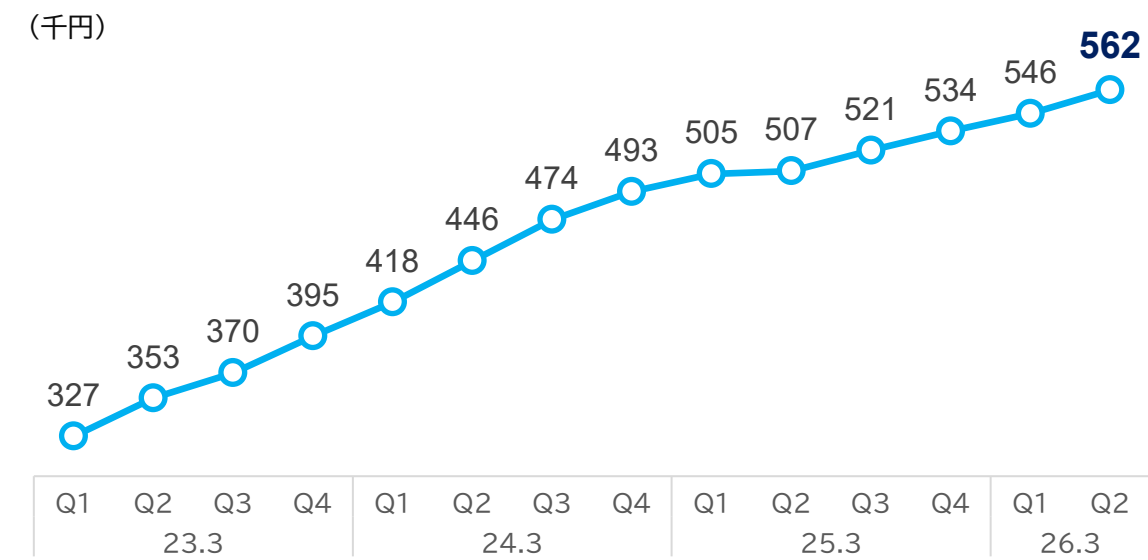
※1: 2023年3月期Q2から2026年3月期Q2の年間平均伸び率(Compound Annual Growth Rate)

※2: 百万円未満四捨五入

クラウドARPU・クラウド稼働システム数の推移

ARPUは高単価製品のウエイト増加が成長を牽引、クラウド稼働システム数は堅調に増加を継続

クラウドARPUの推移

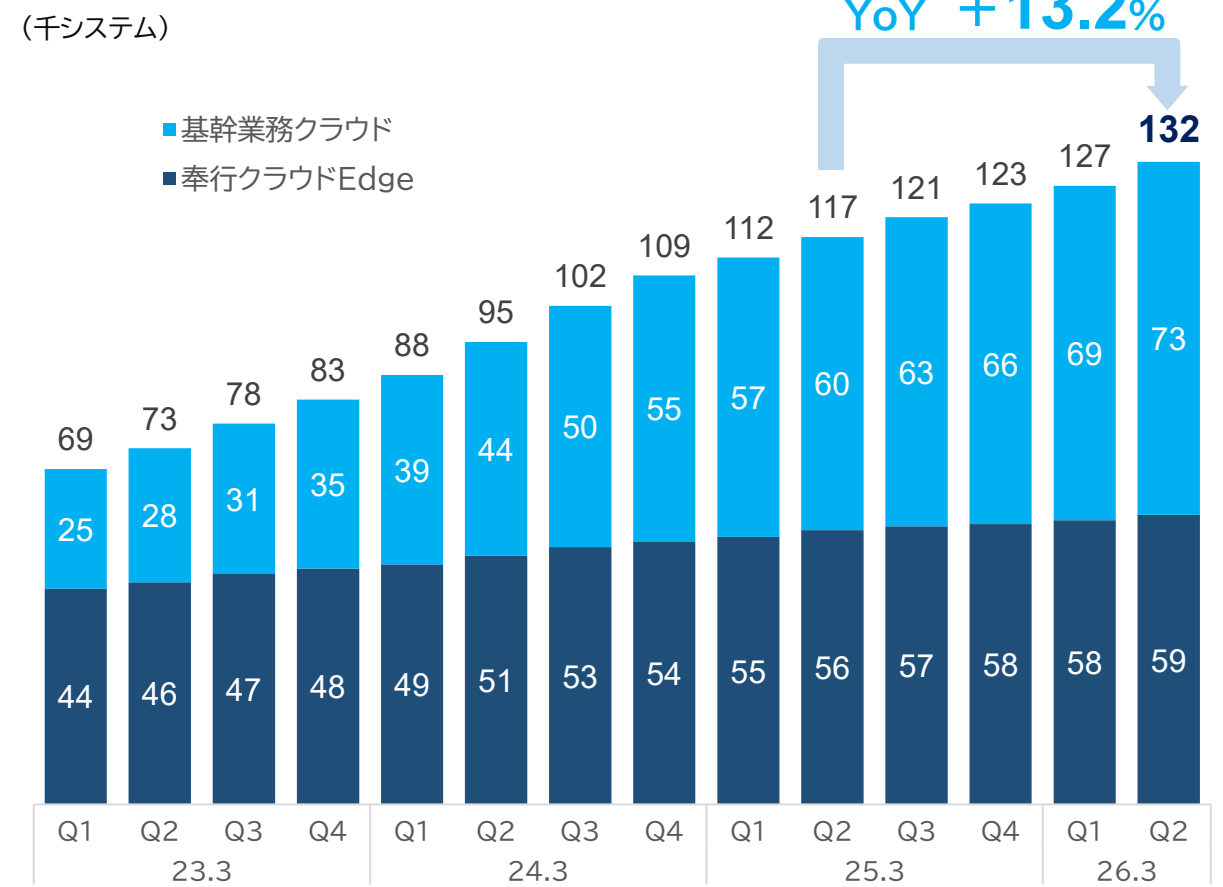


【参考】ソリューション別平均単価 ※1

基幹業務クラウド	SaaS	奉行クラウドi	21.4万円/年
		奉行クラウド V ERP	87.8万円/年
		奉行クラウド DX Suite	126.7万円/年
	IaaS		88.8万円/年
奉行クラウドEdge			16.1万円/年

※1: 25年9月末のARR÷9月末契約数×12で算出。継続契約における年間金額。

クラウド稼働システム数の推移※2



※2: クラウドの全利用システム数(オプション等含む)

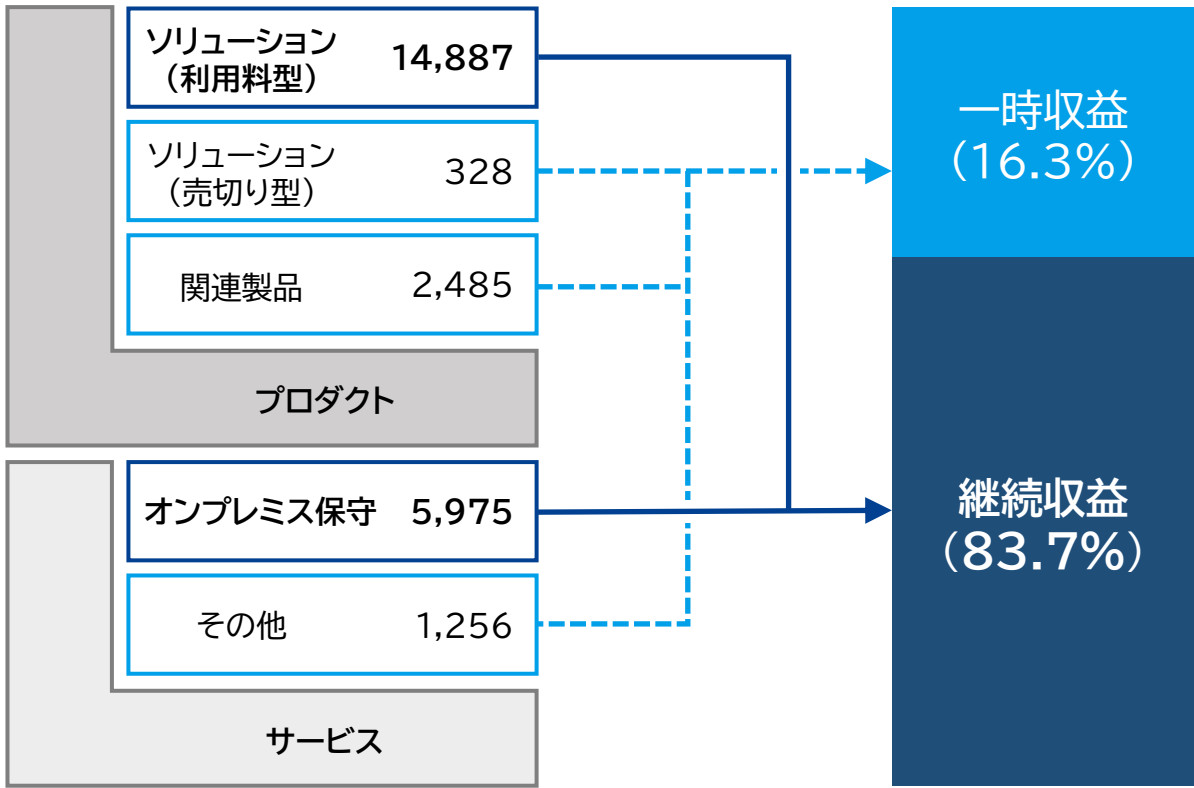
奉行クラウド DX Suiteは、基幹業務クラウドと奉行クラウドEdge複数サービスをセットで1システムとカウントし、基幹業務クラウドに含める

継続収益比率

クラウド増加により継続収益が順調に拡大

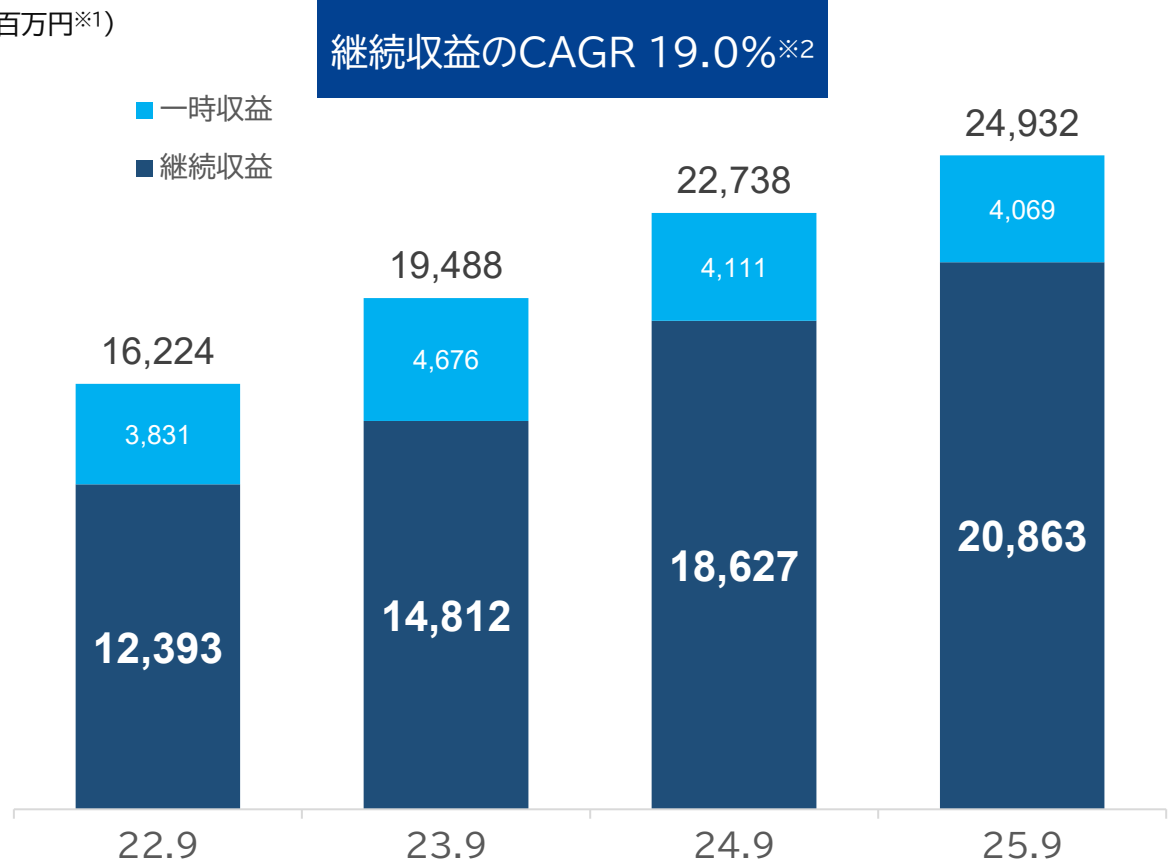
2025.9期の売上構成比

(百万円※1)



継続収益の推移

(百万円※1)



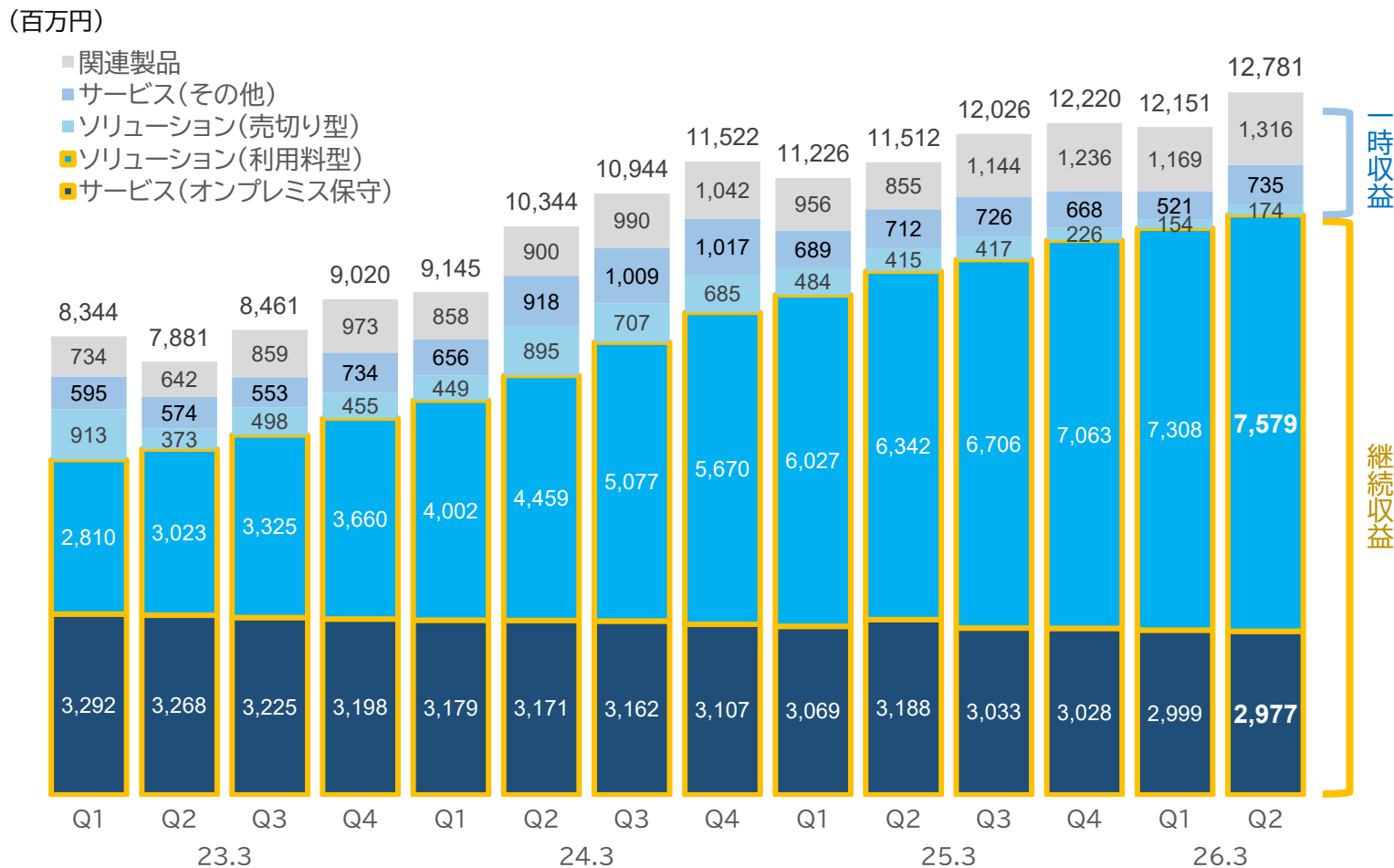
※1:百万円未満四捨五入

※2:2022年9月期から 2025年9月期の年間平均伸び率(Compound Annual Growth Rate)

売上構成・営業利益の推移

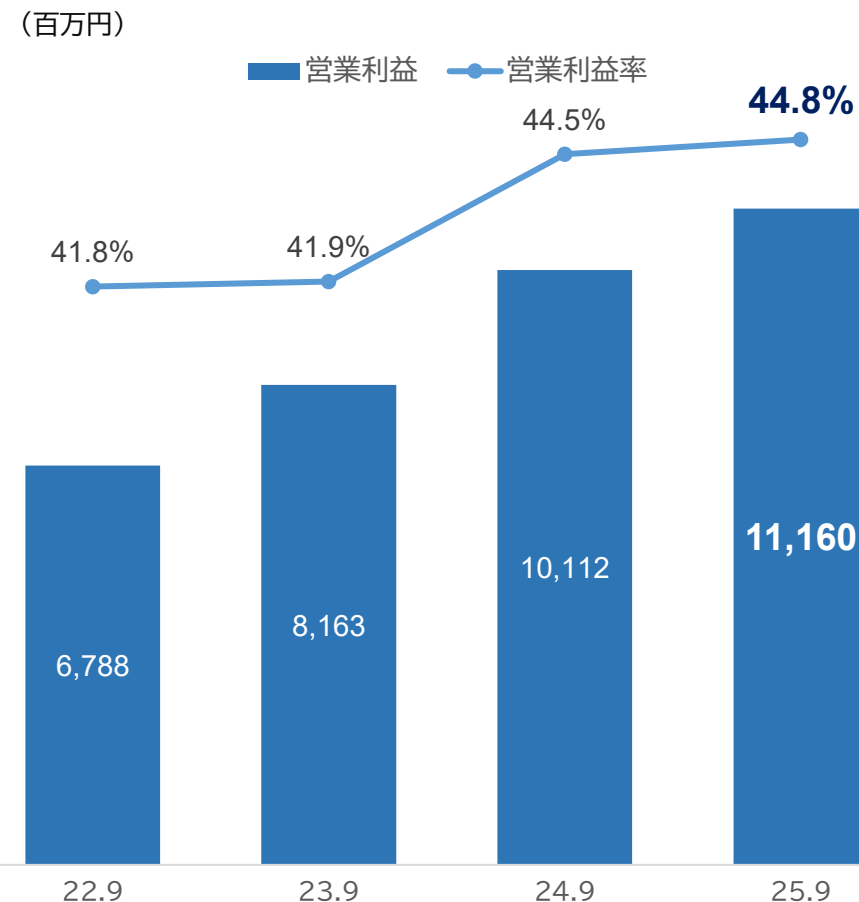
クラウド増加により継続収益が順調に拡大

売上構成の推移※1(四半期単位)



※1:百万円未満四捨五入

営業利益と営業利益率※2の推移



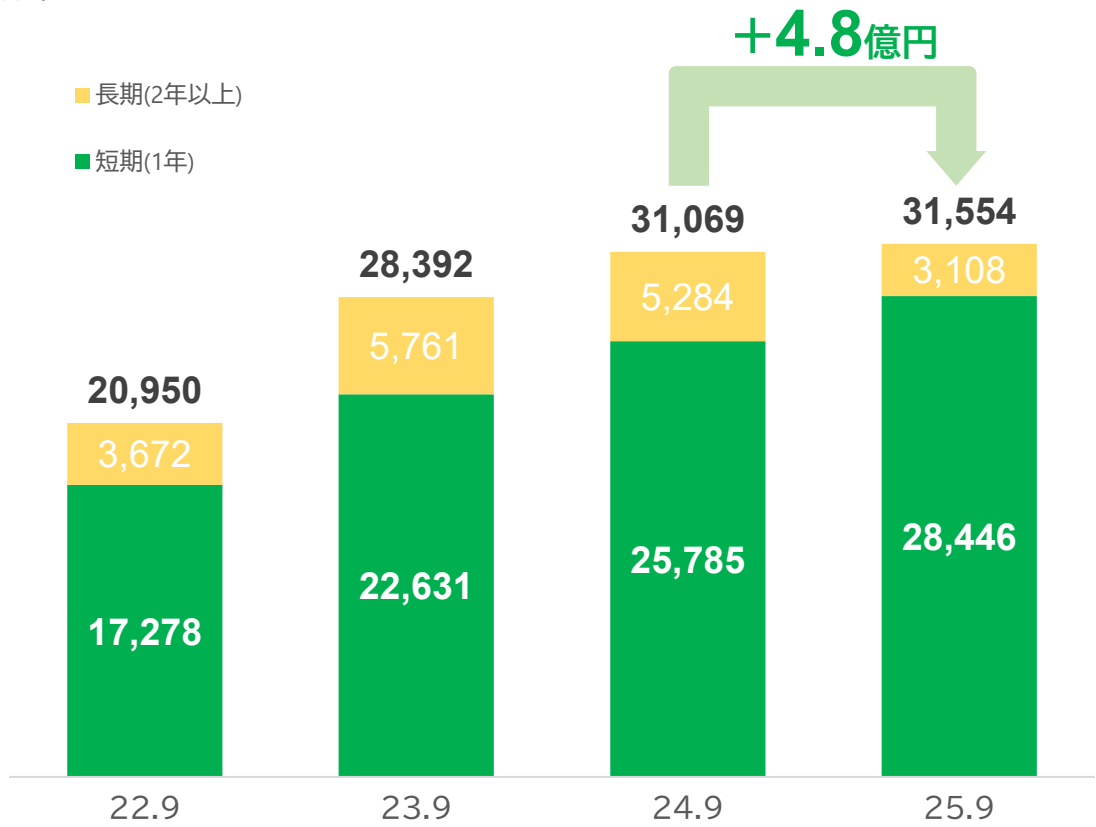
※2:営業利益率=営業利益/売上高

前受収益残高と契約継続率の推移

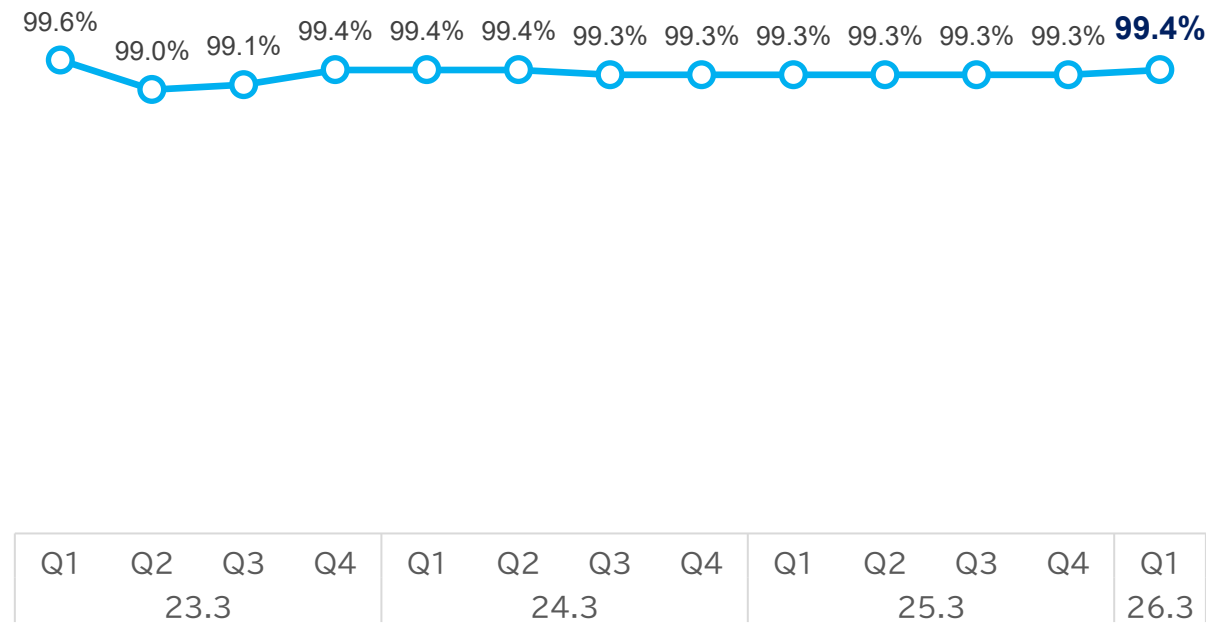
2年超の長期契約を原則廃止した影響により長期前受収益残高が減少も、契約継続率は高率を維持

前受収益残高の推移

(百万円)



契約継続率の推移



2. 2026年3月期第2四半期 決算の概況



損益計算書

(百万円)	25/3期 上期		26/3期 上期 計画	26/3期 上期		対前年同期		売上高	◆ 売上高 2,193百万円増(対前年9.6%増)
	構成比(%)			構成比(%)		増減額	増減率(%)		
売上高	22,738	100.0	24,700	24,931	100.0	2,193	9.6	売上 総利益	◆ 売上総利益 2,032百万円増(対前年10.7%増) ◆ 売上高全体の中で相対的に利益率が高いリユース 売上高が占める構成比率が、58%から61%へと 伸長した影響に加え、インストラクター指導の外注 委託費減少により、売上総利益率が0.8ポイント良化
売上総利益	19,028	83.7	20,613	21,060	84.5	2,032	10.7		
販売管理費	8,916	39.2	9,763	9,900	39.7	984	11.0		
営業利益	10,111	44.5	10,850	11,160	44.8	1,048	10.4	営業 利益	◆ 販売管理費 984百万円増(対前年11.0%増) ◆ 営業利益 1,048百万円増(対前年10.4%増)
営業外損益	681	3.0	500	785	3.2	104	15.3	経常 利益	◆ 受取利息 100百万円(前期7百万円) ◆ 受取配当金 666百万円(前期655百万円)
経常利益	10,792	47.5	11,350	11,945	47.9	1,152	10.7		
当期純利益	7,632	33.6	7,880	8,273	33.2	640	8.4	当期 純利益	◆ 当期純利益 640百万円増(対前年8.4%増)

売上高の品目別内訳

(百万円)	25/3期 上期		26/3期 上期 計画	26/3期 上期		
	構成比(%)			構成比(%) 前期比(%)		
ソリューション	13,268	58.3	15,395	15,215	61.0	14.7
クラウド	12,284	54.0		14,865	59.6	21.0
基幹業務クラウド(SaaS,IaaS)	8,036	35.3		10,191	40.9	26.8
奉行クラウドEdge	4,247	18.7		4,673	18.7	10.0
オンプレミス(基幹業務システム)	984	4.3		350	1.4	△64.4
関連製品	1,811	8.0	1,975	2,485	10.0	37.2
サービス	7,657	33.7	7,330	7,231	29.0	△5.6
オンプレミス保守	6,257	27.5		5,975	24.0	△4.5
その他(インスト指導等)	1,400	6.2		1,256	5.0	△10.3
合計	22,738	100.0	24,700	24,931	100.0	9.6

対前年同期比の主な内容

- ソリューション**
 - ✓ 中小企業向けの奉行iクラウド、中堅・上場企業向けの奉行V ERPクラウド及び奉行クラウドDX suiteは共に堅調に推移
 - ✓ オンプレミス新規販売終了(‘25.2月末)に伴う売上減少は概ね想定通りの水準
- 関連製品**
 - ✓ 奉行連動ソリューション売上が141百万円増加
 - ✓ IaaSモデル環境構築新価格切替による増加538百万円
- サービス**
 - ✓ オンプレミス奉行製品ユーザー様の奉行クラウド製品への切替等を背景として、オンプレミス保守売上が281百万円減少
 - ✓ 指導料売上144百万円減少

販売費及び一般管理費の内訳

(百万円)	25/3期 上期		26/3期 上期		
	構成比(%)		構成比(%) 前期比(%)		
売上高	22,738	100.0	24,931	100.0	9.6
販売費及び一般管理費	8,916	39.2	9,900	39.7	11.0
販管人件費	2,838	12.5	3,139	12.6	10.6
研究開発費	2,034	8.9	2,186	8.8	7.5
広告宣伝費	1,125	5.0	1,450	5.8	28.8
地代家賃	381	1.7	450	1.8	18.2
減価償却費	143	0.6	231	0.9	61.5
その他経費	2,393	10.5	2,442	9.8	2.0

対前期比の主な内容

- 販管人件費、研究開発費
 - ✓ 人員増(‘25年4月新卒採用104名)に加え、給与のベースアップ等により、人件費が増加
- 広告宣伝費
 - ✓ ブランド浸透のため戦略的に強化
- 地代家賃
 - ✓ 本社707増床により、69百万円増加
- 減価償却費
 - ✓ 前上期ソフトウェア償却費修正△89百万円を含む
- その他経費
 - ✓ 支払手数料311百万円減少。前上期には過年度支払手数料430百万円が含まれていたことが主な要因
 - ✓ 展示会費が107百万円増加
 - ✓ 販売促進費が106百万円増加

3. 株主還元

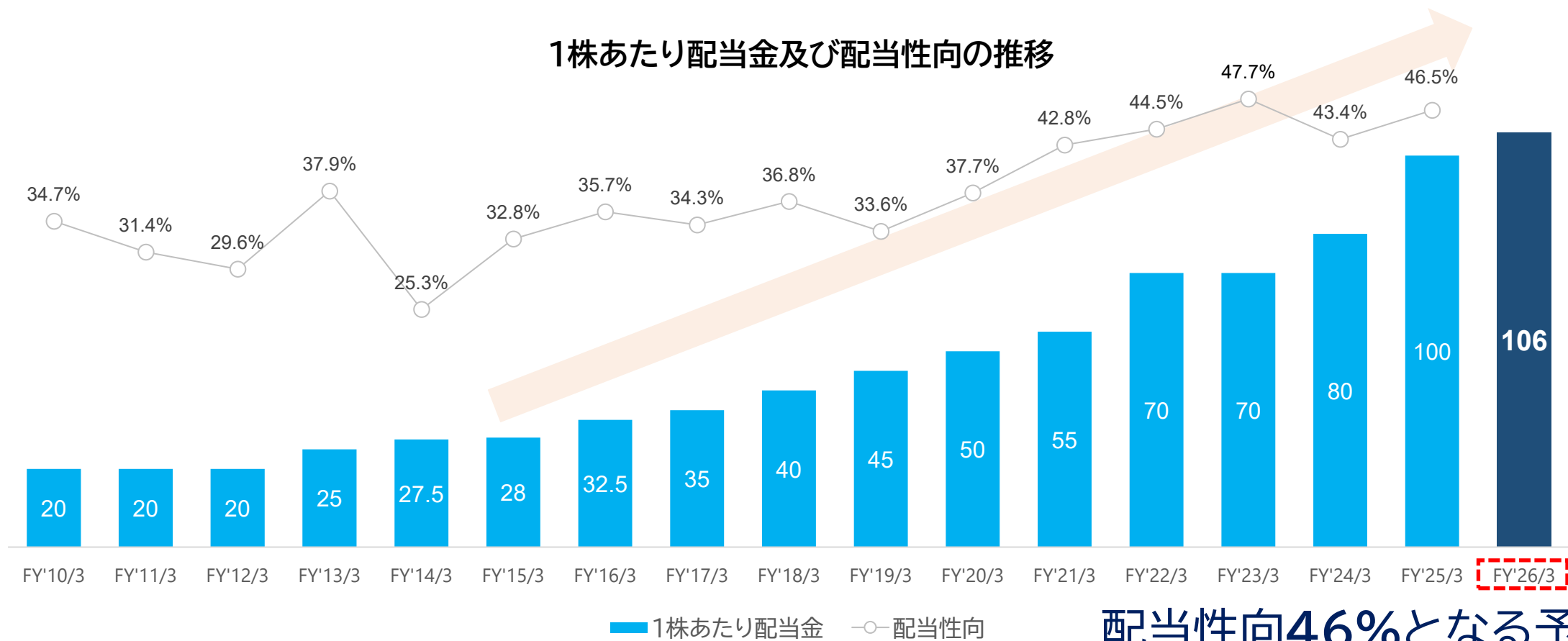


【再掲】株主還元 – 年間配当計画

年間配当額 前期100円から**106円(中間53円)**へ増配

(2025年3月期決算説明会資料より再掲)

1株あたり配当金及び配当性向の推移



配当性向**46%**となる予想

2014年3月期、2019年3月期は、1株につき2株への株式分割を行っており、分割適及値で表記しています。

4. 2026年3月期事業戦略



Mission

“クラウドネイティブAzureのSaaS型ビジネスの確立”

5つの戦略

1

奉行11シリーズ
Up to Cloud

2

奉行V ERP
クラウド拡販戦略

3

奉行クラウド
Edgeによる
周辺業務の
デジタル化促進

4

BPaaS戦略

5

AI・セキュリティ
強化

1 奉行11シリーズ Up to Cloud

オンプレミスのクラウド移行戦略【第1段】

奉行11シリーズ約11万システム
2027年4月末サポート終了【第1段】※1

※1 20年3月～23年3月出荷製品

2025年9月末時点
奉行i11シリーズ約8万システム 第1段:3万システム 第2段:5万システム
奉行V ERP11シリーズ約3万システム 第1段:1万システム 第2段:2万システム

+

奉行11保守価格改定

UP_{to}クラウド
IT導入補助金2年分の活用

基幹業務システム
奉行[®]11シリーズ



クラウドユーザー向け専用イベントを
オンプレユーザーにも拡大して開催

1年に1度、奉行クラウドの
使いこなしヒントが必ず見つかる特別な1日

OBC公式ユーザーイベント 奉行クラウド
Thanks Day 2025
Change! Challenge!

入退室自由

オンライン開催 13:00
9/26 金 16:00

奉行ユーザーAWARD 2025
授賞式

Thanks Day 2025
Change! Challenge!

わたしたちが目指すこと
業務効率化 負担軽減 新しい挑戦 価値の創出
日々の業務に、想像を超える進化を

みなさまが『奉行クラウド』を使いこなして
業務をもっと効率化することで新たな価値を生み出せるように、
今後もカスタマーサクセス&サポートを強化してまいります

2. 特定親族特別控除の創設
改正内容
今年の重要点！ 令和8年分の扶養控除等（異動）申告書の様式が一部変更！
「源泉控除対象親族」を記載することで、令和8年1月以降の給与計算に影響します！

変更点：項目名の変更
「控除対象扶養親族」を
「源泉控除対象親族」に変更

変更点：区分の追加
「特定親族」の区分を追加

年齢：20歳
所得見積額：98万円
山田 二郎さん

2 奉行V ERPクラウド拡販戦略

固定資産・リース資産の管理をフルカバー。新リース会計基準の対応準備に万全サポート

新リース会計基準(2027年4月以降開始会計年度から強制適用)に標準機能ですべて対応

奉行AIエージェント
新リース会計識別クラウド

AIでリース識別

新リース会計対応実装済み

固定資産管理システム
固定資産奉行V ERP
クラウド

仕訳自動作成

財務会計システム
勘定奉行V ERPクラウド

① 影響額試算

オンバランス化による 影響額の把握

オンバランス対象の試算数、
遡及計算方法ごとの影響額
や自己資本比率を計算



影響額試算ツールExcelは
固定資産奉行V ERPクラウド
へそのままインポートも可能



② 適用初年度の 遡及計算

新規識別リースの登録

新たにリースと識別
した契約情報を
リース登録

リース負債等の遡及計算



経過処置を適用した
初年度影響額を
自動計算

遡及計算影響額の確認



適用初年度の期首
時点で計上すべき
仕訳金額を確認

③ 使用権資産・リース 負債の計算

リース契約情報の登録



リース契約番号
ごとに複数のリース
を登録・管理

④ リース負債等の 見直し

契約条件やリース期間の 変更に伴うリース 負債等の見直し



契約条件やリース
期間の変更があった
場合にリース負債等
を見直し

⑤ 仕訳伝票作成

新リース基準に則した 仕訳伝票の自動作成



リース契約開始時
やリース負債等の
見直しをはじめとし
た仕訳を自動作成

⑥ 注記情報

注記項目一覧表の作成

注記作成に必要な金額を
自動集計

⑦ 税務要件への対応

税務上のリース取引区分 判定基準

税務上の取引区分の判定・
申告調整

2 奉行V ERPクラウド

ノーコード・ローコードデータ連携、APIによる他社ソリューションとの連携

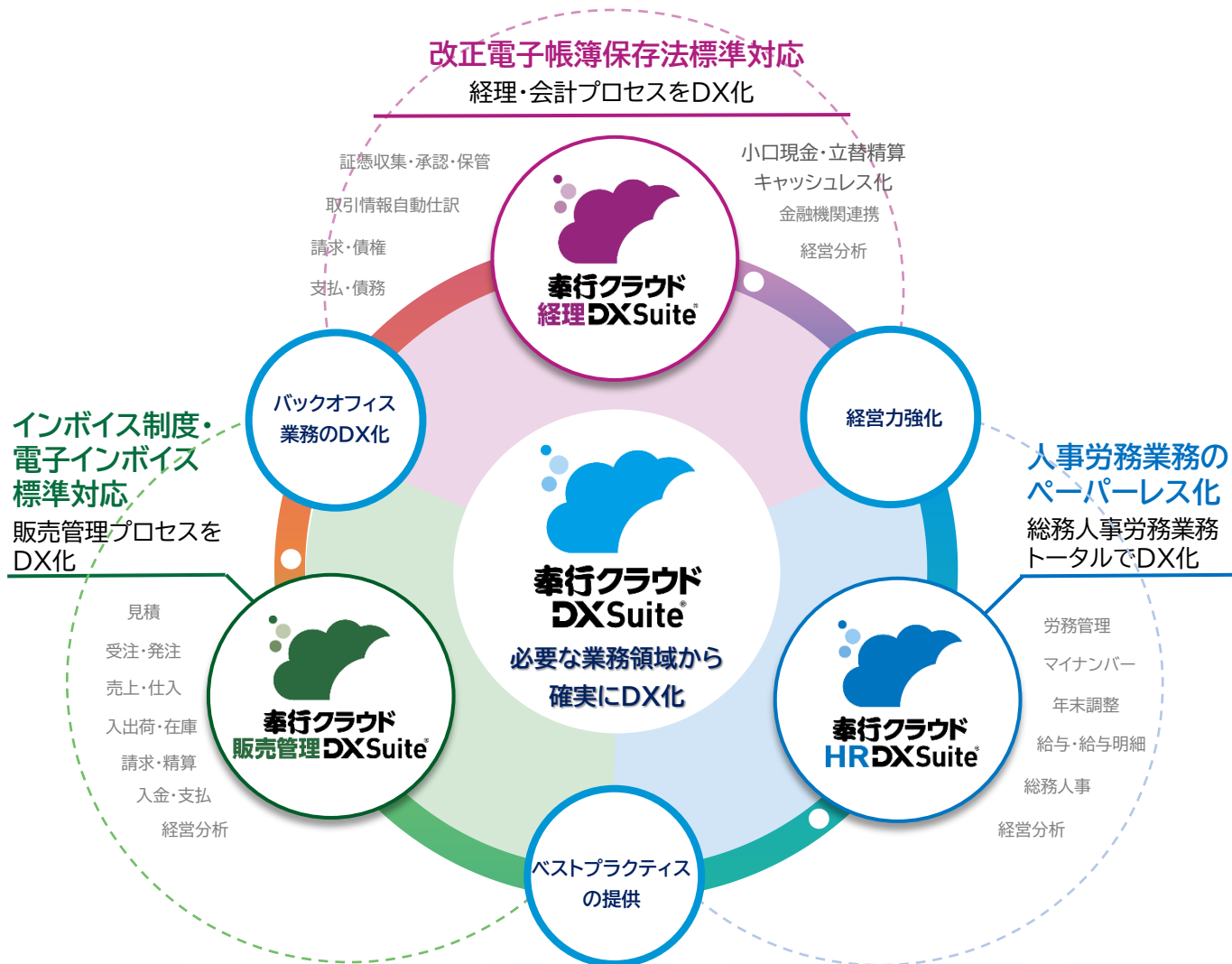
8社のツールパートナーとの連携によって、お客様独自の業務をSaaSで完結



3 奉行クラウドEdgeによる周辺業務のデジタル化促進

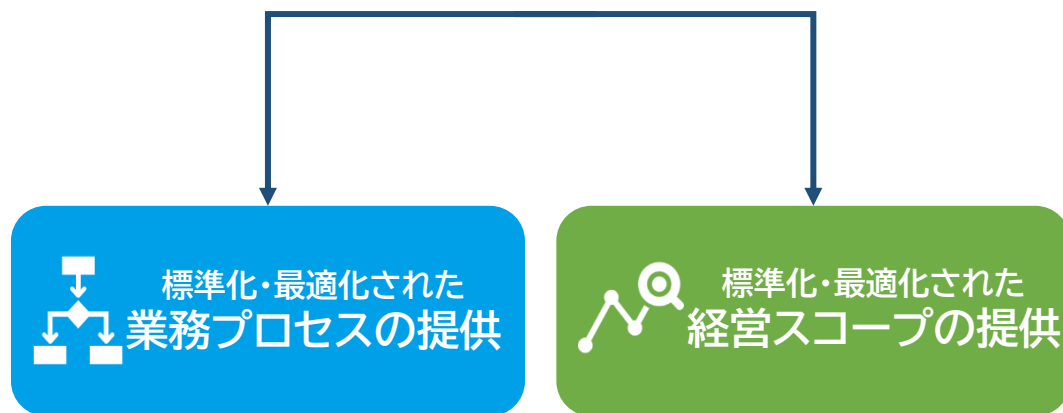
最新制度をもれなく標準搭載し、経営力を強化する「奉行クラウド DX Suite」

「育児介護休業法改正実務」「103万円の壁の廃止に伴う年末調整実務」に完全対応



奉行クラウド DX Suiteは、業務と経営判断を高度化するためのベストプラクティスによってバックオフィス業務をDX化し、経営力の強化に貢献します

奉行クラウド DX Suite[®]
＝ 時代に整合したベストプラクティスの提供



- ビジネスプロセスが短縮される
- 目視のチェックや手入力がなくなる
- 誰でも繰り返し同じ結果が出せる
- リアルタイムに企業の現状を把握できる
- 多角的な視点で情報提供できる
- データの活用ができ、次のアクションがわかる



どんな企業でも請求書DXがうまくいく、請求書DXサービスの決定版

請求書の形式を問わずペーパーレス化が可能で、面倒な手作業やミスがゼロになる

さらに、請求書の発行・受取側どちらもPeppol仕様を利用なら、PDFの読取りや保管業務もゼロに

奉行Edge 発行請求書DX クラウド

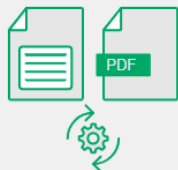


奉行Edge 受領請求書DX クラウド

請求書のデジタル発行があっという間に終わる！

メリット1

PDFでも紙でも送付作業を
全て自動化



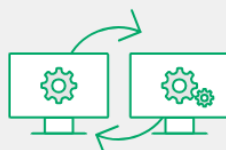
メリット2

送付状況を可視化することで
ミスや漏れがなくなる



メリット3

利用中の販売管理システムと
スムーズにつながる



請求書の受領から支払まで一気通貫でデジタル化

メリット1

社内の請求書をデジタルで
集めて支払業務が素早く完了



メリット2

請求書支払の
ミスや漏れを防止



メリット3

利用中の会計システムと
スムーズにつながる



4 BPaaS(BPO+SaaS)戦略

「奉行クラウドBPaaS」の展開を開始

OBCのBPaaS戦略の狙い

中堅・大企業から中小企業までのBPaaSニーズの高まりを背景に、攻めと守りの両輪で奉行クラウドビジネスを成長させる

BPaaSニーズの高まり

中堅・大企業など

- ・ 業務量増加への対応として、高度な業務と標準的な業務とを切り分けて、BPaaS利用によって効率化を図りたい

中小企業など

- ・ 担当者の退職によって業務が回らない
- ・ BPaaS利用によって業務属人化リスクを解消したい



攻め

“新規顧客獲得”

中堅・大企業のBPaaS
ニーズを取り込み、
新規売上を増大

守り

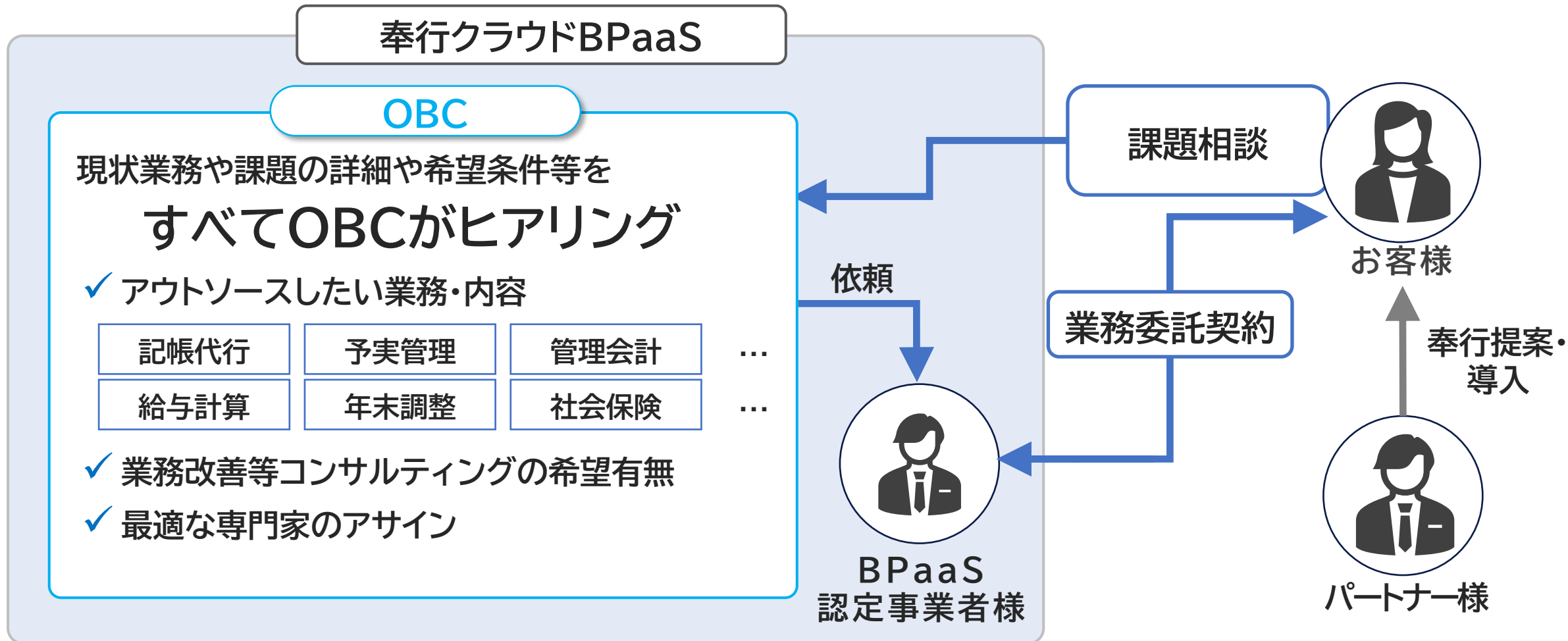
“奉行ユーザーの 離脱防止”

既存ユーザー様の
担当者退職や休職
による解約リスクを阻止

4 BPaaS(BPO+SaaS)戦略

「奉行クラウドBPaaS」の展開を開始

OBCがお客様のBPaaS相談の入口となり、ニーズの詳細を把握の上、最適な専門事業者様を紹介
奉行クラウド 利用により提供されるBPaaSサービスによって、お客様の課題解決・業務効率化の実現に資する



AIの取り組み

OBCによるAX実現に向けた

AI戦略

連結会計支援
AIエージェント

・各グループ個社の科目体系
・リアルタイム金額

・連結科目体系
・収集した金額

科目コード	科目名称	金額	科目コード	科目名称	金額
P000	売上高	100,000,000	P000	売上高	100,000,000
P010	売上原価	60,000,000	P010	売上原価	60,000,000
P020	売上粗利益	40,000,000	P020	売上粗利益	40,000,000
P030	売上総利益	30,000,000	P030	売上総利益	30,000,000
P040	売上営業利益	20,000,000	P040	売上営業利益	20,000,000
P050	売上経常利益	10,000,000	P050	売上経常利益	10,000,000
P060	売上税引前利益	5,000,000	P060	売上税引前利益	5,000,000
P070	売上税引後利益	2,500,000	P070	売上税引後利益	2,500,000
P080	売上純利益	1,250,000	P080	売上純利益	1,250,000
P090	売上特別損失	0	P090	売上特別損失	0
P100	売上特別利益	0	P100	売上特別利益	0
P110	売上特別損失	0	P110	売上特別損失	0
P120	売上特別利益	0	P120	売上特別利益	0
P130	売上特別損失	0	P130	売上特別損失	0
P140	売上特別利益	0	P140	売上特別利益	0
P150	売上特別損失	0	P150	売上特別損失	0
P160	売上特別利益	0	P160	売上特別利益	0
P170	売上特別損失	0	P170	売上特別損失	0
P180	売上特別利益	0	P180	売上特別利益	0
P190	売上特別損失	0	P190	売上特別損失	0
P200	売上特別利益	0	P200	売上特別利益	0
P210	売上特別損失	0	P210	売上特別損失	0
P220	売上特別利益	0	P220	売上特別利益	0
P230	売上特別損失	0	P230	売上特別損失	0
P240	売上特別利益	0	P240	売上特別利益	0
P250	売上特別損失	0	P250	売上特別損失	0
P260	売上特別利益	0	P260	売上特別利益	0
P270	売上特別損失	0	P270	売上特別損失	0
P280	売上特別利益	0	P280	売上特別利益	0
P290	売上特別損失	0	P290	売上特別損失	0
P300	売上特別利益	0	P300	売上特別利益	0
P310	売上特別損失	0	P310	売上特別損失	0
P320	売上特別利益	0	P320	売上特別利益	0
P330	売上特別損失	0	P330	売上特別損失	0
P340	売上特別利益	0	P340	売上特別利益	0
P350	売上特別損失	0	P350	売上特別損失	0
P360	売上特別利益	0	P360	売上特別利益	0
P370	売上特別損失	0	P370	売上特別損失	0
P380	売上特別利益	0	P380	売上特別利益	0
P390	売上特別損失	0	P390	売上特別損失	0
P400	売上特別利益	0	P400	売上特別利益	0
P410	売上特別損失	0	P410	売上特別損失	0
P420	売上特別利益	0	P420	売上特別利益	0
P430	売上特別損失	0	P430	売上特別損失	0
P440	売上特別利益	0	P440	売上特別利益	0
P450	売上特別損失	0	P450	売上特別損失	0
P460	売上特別利益	0	P460	売上特別利益	0
P470	売上特別損失	0	P470	売上特別損失	0
P480	売上特別利益	0	P480	売上特別利益	0
P490	売上特別損失	0	P490	売上特別損失	0
P500	売上特別利益	0	P500	売上特別利益	0
P510	売上特別損失	0	P510	売上特別損失	0
P520	売上特別利益	0	P520	売上特別利益	0
P530	売上特別損失	0	P530	売上特別損失	0
P540	売上特別利益	0	P540	売上特別利益	0
P550	売上特別損失	0	P550	売上特別損失	0
P560	売上特別利益	0	P560	売上特別利益	0
P570	売上特別損失	0	P570	売上特別損失	0
P580	売上特別利益	0	P580	売上特別利益	0
P590	売上特別損失	0	P590	売上特別損失	0
P600	売上特別利益	0	P600	売上特別利益	0
P610	売上特別損失	0	P610	売上特別損失	0
P620	売上特別利益	0	P620	売上特別利益	0
P630	売上特別損失	0	P630	売上特別損失	0
P640	売上特別利益	0	P640	売上特別利益	0
P650	売上特別損失	0	P650	売上特別損失	0
P660	売上特別利益	0	P660	売上特別利益	0
P670	売上特別損失	0	P670	売上特別損失	0
P680	売上特別利益	0	P680	売上特別利益	0
P690	売上特別損失	0	P690	売上特別損失	0
P700	売上特別利益	0	P700	売上特別利益	0
P710	売上特別損失	0	P710	売上特別損失	0
P720	売上特別利益	0	P720	売上特別利益	0
P730	売上特別損失	0	P730	売上特別損失	0
P740	売上特別利益	0	P740	売上特別利益	0
P750	売上特別損失	0	P750	売上特別損失	0
P760	売上特別利益	0	P760	売上特別利益	0
P770	売上特別損失	0	P770	売上特別損失	0
P780	売上特別利益	0	P780	売上特別利益	0
P790	売上特別損失	0	P790	売上特別損失	0
P800	売上特別利益	0	P800	売上特別利益	0
P810	売上特別損失	0	P810	売上特別損失	0
P820	売上特別利益	0	P820	売上特別利益	0
P830	売上特別損失	0	P830	売上特別損失	0
P840	売上特別利益	0	P840	売上特別利益	0
P850	売上特別損失	0	P850	売上特別損失	0
P860	売上特別利益	0	P860	売上特別利益	0
P870	売上特別損失	0	P870	売上特別損失	0
P880	売上特別利益	0	P880	売上特別利益	0
P890	売上特別損失	0	P890	売上特別損失	0
P900	売上特別利益	0	P900	売上特別利益	0
P910	売上特別損失	0	P910	売上特別損失	0
P920	売上特別利益	0	P920	売上特別利益	0
P930	売上特別損失	0	P930	売上特別損失	0
P940	売上特別利益	0	P940	売上特別利益	0
P950	売上特別損失	0	P950	売上特別損失	0
P960	売上特別利益	0	P960	売上特別利益	0
P970	売上特別損失	0	P970	売上特別損失	0
P980	売上特別利益	0	P980	売上特別利益	0
P990	売上特別損失	0	P990	売上特別損失	0

リアルタイムな金額と収集した金額を比較して、正しく収集できているかを確認する。

監査手続き
AIエージェント
(パートナー連携)

財務データ
比較分析
AIエージェント
(パートナー連携)

奉行AI
エージェント 新
リース会計
識別クラウド

サポートAI
アシスタント

OBCサポートセンター業務を
AIが伴走

奉行クラウド
AIアシスタント

奉行クラウド
AIエージェント

OBCの

ナレッジ&テクノロジー

で生産性向上を実現

顧客満足度
向上に貢献

OBCのテクノロジー

パートナー様のナレッジ
で支援領域拡大を実現

パートナー満足度
向上に貢献

- 自動仕訳
- 自動翻訳
- AI-OCR
- 奉行AIチャット
- 社員検索
仕訳検索
- 仕訳作成
支援
- 異常値
アラート
- AI帳票

※今後提供予定の機能・サービスを含みます

奉行クラウド AIアシスタント機能例

銀行入出金データ、
クレジットカード利用明細データからの自動仕訳

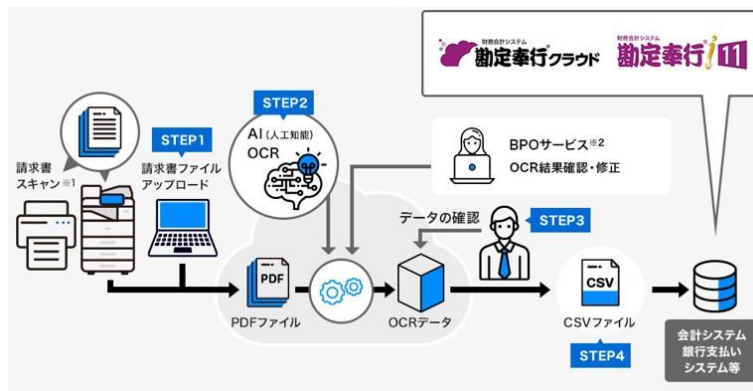
AI-OCRオプション for 奉行クラウド

奉行AIチャット(奉行クラウド全製品)

AI×OCRで請求書内容の自動データ化により
経理業務を効率化

「知りたいこと」に的確に回答し、日々の業務をアシスト

取引日	取引金額	取引内容	借方	貸方
19 4 30	4,900,000	銀行入出金		4,900,000
19 4 30	1,417,447	銀行入出金		1,417,447
19 4 30	1,367,415	銀行入出金		1,367,415
19 4 30	551,881	銀行入出金		551,881
19 4 30	3,456,000	銀行入出金		3,456,000
19 4 30	2,037,893	銀行入出金		2,037,893
19 4 30	551,881	銀行入出金		551,881
19 4 30	3,456,000	銀行入出金		3,456,000
19 4 30	2,037,893	銀行入出金		2,037,893
19 4 30	551,881	銀行入出金		551,881



法定調書会計資料の金額や人数が管理資料と合わないのですが、何が原因ですか？

法定調書会計資料の金額や人数が管理資料と合わない原因は、以下の通りです：

- 調整額が原因の場合：調整額が入力されている社員を確認する必要があります。
- 年末調整の処理状況が原因の場合：年末調整一覧表で、過剰社員や年調不要の社員を含めて集計する必要があります。
- 支払金額が0円以下の社員が原因の場合：年末調整一覧表で課税収入金額を確認し、0円以下の社員がいるか確認します。
- 調整年調の社員が原因の場合：年末調整方法が「単独年調」の社員を確認し、源泉徴収税額を確認します。

これらの原因を確認することで、金額や人数の不一致の原因を特定できます。

以下のリンクもあわせてご確認ください。

・法定調書会計資料の金額や人数が管理資料と合わない

自然言語での仕訳・社員検索

勘定奉行クラウドGlobal Editionでの多言語対応・自動翻訳

以下 conditions を生成しました。

- 伝票日付 25年 4月 1日 ~ 26年 3月31日
- 伝票出力順 伝票日付の新しいものから表示
- 勘定科目 売上高

例)タイ語で入力された摘要の文字の翻訳イメージ

SGD	5.9891	500.75	ยังไม่ได้รับบรามลูกหนี้
001	Sales1		未徴収売掛金
31100	コンサルティング		ยังไม่ได้รับบรามลูกหนี้
			Not yet collected accounts receivable

仕訳伝票上で入力された
現地語の摘要は
日本語や英語に
翻訳可能

※今後提供予定の機能・サービスを含みます

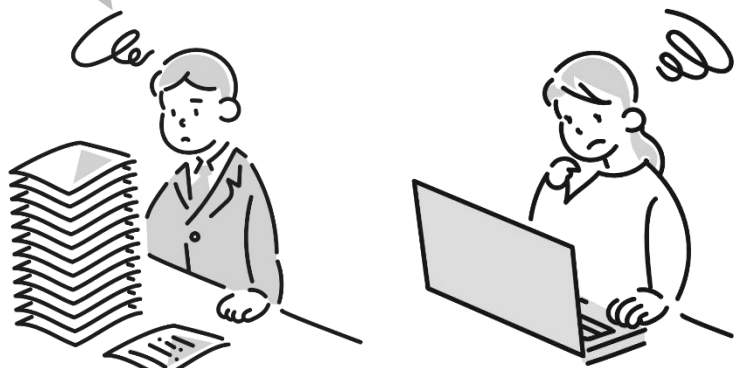
5 AI・セキュリティ強化

リースの識別をAIでサポートする『奉行AIエージェント 新リース会計識別クラウド』を発売

奉行AIエージェント 新リース会計識別クラウド

✓ 契約書を1件ずつ確認しながら、
リース識別の業務に時間がかかる...

✓ リース識別の判断や根拠にミスがないか不安...



AIがリース識別をサポート！

新リース会計基準適用の第一歩！
『リース識別』への課題を迷わず最短で解決！

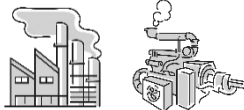
契約書データを
アップロード

リースを含む可能性のある契約の識別を
奉行AIエージェントがサポート

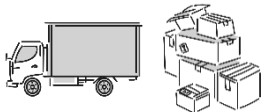
識別結果をもとに手間なく
リース資産として登録

識別したい契約書

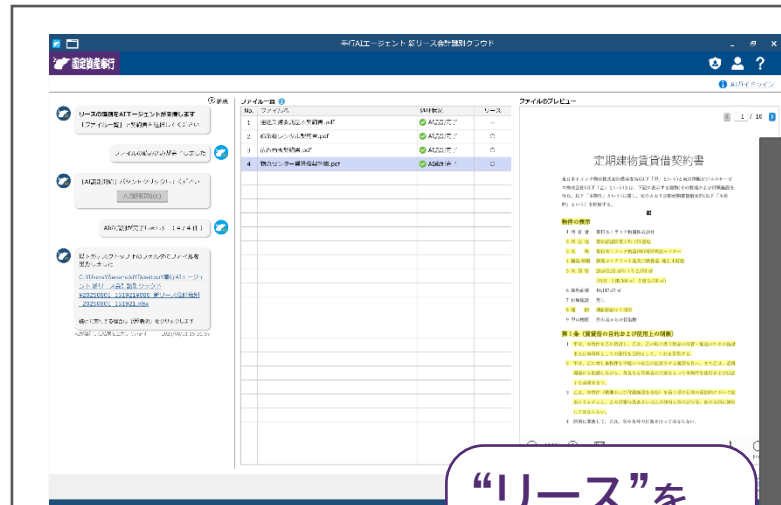
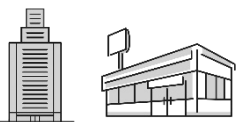
製造委託契約



物流委託契約



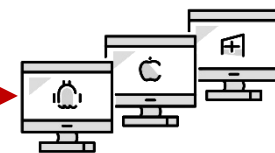
テナント契約



“リース”を
含む可能性が
高い or **低い**

まとめてアップロード！

固定資産管理システム



CSVデータを取込

データ出力



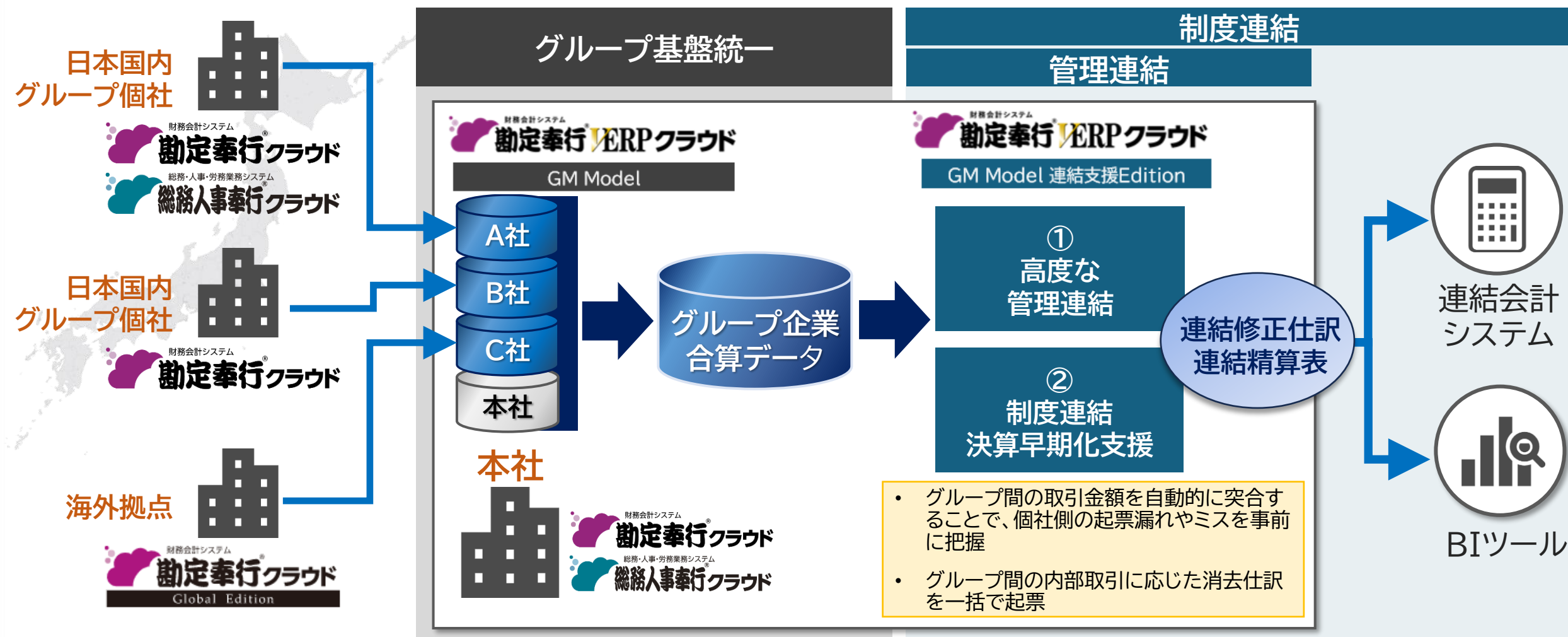
固定資産管理システム
**固定資産奉行VERP
クラウド**

そのままデータを取込

5 AI・セキュリティ強化

連結会計支援Edition(AIエージェント)

グループ企業の単純合算ではなく、より高度な管理連結や連結決算早期化を支援するサービスとして提供



セキュリティ：OBCが提供する3つの安全・安心

① Azure + SQL Database

が提供するセキュリティ(プラットフォーム)

世界トップレベルセキュリティ

米国国防総省に次ぐサイバー攻撃を防御し、その情報を反映

日本政府選定 ガバメントクラウド

政府が認めた共通利用クラウド環境

日本国内データセンター限定(国内法準拠)

データは国内法が適用される日本国内データセンターにのみ保管

東日本・西日本バックアップ(BCP/6重化)

東日本をメインとし、西日本にバックアップ、それぞれで3重化されます

月間稼働率99.9%保証 (Azure SLA)

Azureのサービスレベルアグリメント



東日本データセンターを中心に、西日本のデータセンターをバックアップセンターとして活用



② 奉行クラウドが提供するセキュリティ(サービス)

OBCiDによるアクセス認証・権限設定

一つのIDで複数の奉行クラウドサービスを利用。シングルサインオン対応

暗号化による強固なデータ保護

すべてのデータを暗号化。あらゆる通信をSSLで保護

24時間365日運用監視

利用状況、リソース状況などを自動監視。脅威に対する備えは万全

WAF(Web Application Firewall) + FireWall

WAFにより、様々なサイバー攻撃をブロック。FireWallですべてのサービス境界を防御

定期的な脆弱診断テスト

リリース時、および年1回の定期脆弱診断により、脆弱性を排除



③ OBCが提供するセキュリティ(開発・管理・運用体制)



SOC1/SOC2
(内部統制/セキュリティ)

国際基準による第三者監査評価



ISMAP登録
(奉行クラウド、奉行クラウドEdge)

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度



ASMツール評価 (使用ツール: Security Scorecard)
最高グレード「A評価」を取得

外部公表資産のサイバー攻撃耐性を評価

**国内最高レベルの
開発・管理・運用体制**

ISMAP・SOC + ASM評価による運用体制

「データの信頼性」の確保

データの信頼性は最も重要です。Microsoft Azureが提供するクラウドプラットフォーム、SQLデータベース、クラウド開発環境(PaaS)を採用することにより、継続的な「データの信頼性」を確保しています。

研究開発投資の成果を享受

MicrosoftがAIやセキュリティなど新技術に毎年投資する、数千億もの研究開発投資の成果を、奉行クラウド、奉行クラウドEdgeの各製品は自動的に享受することができます

Windowsアプリの使いやすさ

Windowsアプリを意識したユーザーインターフェースになっており、オンプレミスと同等以上のきめ細かい機能性・操作性を実現しています。

『奉行iクラウド』『奉行V ERPクラウド』『奉行クラウドEdge』、ISMAPクラウドサービスリストに登録



ISMAP (Information system Security Management and Assessment Program)
 日本政府がクラウドサービスを調達する際のセキュリティ基準を定めた評価制度です。
 厳格な審査を経て、信頼性の高いサービスのみが第三者評価を通じて登録されます。

ISMAPの主な利点・特徴

国内最高水準の基準対応が
OBCクラウドの価値を証明

政府が定める国内最高水準のセキュリティ基準に準拠したクラウドサービスの提供により、OBCはサービスの信頼性とブランド価値を高めています。

信頼できるクラウド選択

企業や自治体は、ISMAP登録クラウドを選択することで、国の基準に準拠した安全性の高いサービスを安心して導入できます。

ISMAP継続で最高水準の
セキュリティ体制を維持

OBCはISMAP登録を継続することで、常に最新の安全基準に対応した、信頼性の高いサービスをお客様に提供できます。またお客様は永続的に高度なセキュリティを享受できます。

“国産SaaS ERPとして初の登録”

奉行クラウドシリーズの第三者認証は、既に取得済みであるSOC1・SOC2レポートに加え、日本政府が求めるセキュリティレベルを評価するISMAPに国内業務ERPとしては初登録。



“ISMAP登録により行政市場への展開拡大”

デジタル庁が推進する「デジタルマーケットプレイス(DMP)」への掲載により、民間企業向けクラウドサービスが行政機関・自治体にも広く展開可能となりました。今後の販路拡大に寄与することが期待できます。



行政機関



デジタルマーケットプレイス

<https://www.dmp-official.digital.go.jp/>



クラウドサービス事業者

行政機関(国や自治体)はDMPに掲載しているSaaSからシステムを選定

奉行主力製品はDMP登録済
すでにDMPを通じた案件流入実績あり

Appendix



会社概要・奉行クラウドシリーズ

商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD
代表者	代表取締役社長 和田 成史
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号住友不動産新宿オークタワー
設立	1980年12月
事業開始	1981年7月
資本金	105億1,900万円
従業員数	1,304名(2025年4月1日現在、臨時雇用者数含む)
決算期	年1回(3月)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード:4733)
事業内容	企業業務(会計・人事・給与等の基幹業務や、それに係る周辺業務)に関するソリューションテクノロジーの開発メーカーとして、パートナー企業を通して、お客様の業務効率化に貢献するクラウドサービス等を提供
事業所	札幌・仙台・関東・東京・横浜・静岡・名古屋・金沢・大阪・広島・福岡
開発センター	東京(常時400名規模の開発体制)
サポートセンター	東京・札幌(常時300名規模のサポート体制)



▲ 開発センター

お客様と成長を続ける 奉行シリーズ

業務クラウド国内No.1ブランド「奉行シリーズ」

小規模・中小企業向け
基幹業務クラウド



中堅・上場企業向け
クラウドERP



従業員向け
働き方改革ソリューション



累計導入数

820,000

※2025年8月現在

中堅企業 > 累計 **19,800**

奉行V ERP > 累計 **16,300**

上場企業 > 累計 **1,798**

奉行クラウド
奉行クラウドEdge
累計導入システム

152,400 システム
以上

※2025年8月現在

契約継続率※ > **99.3** %

利用者数 > **1,723** 万人

奉行Edge マイナンバークラウド

※2025年8月現在

利用数 **12,990**

利用者数 **3,193,000** 人

奉行Edge 勤怠管理クラウド

※2025年8月現在

利用数 **15,150**

利用者数 **1,523,000** 人

奉行Edge 年末調整申告書クラウド

※2025年8月現在

利用数 **14,400**

利用者数 **2,715,000** 人

奉行Edge 給与明細電子化クラウド

※2025年8月現在

利用数 **20,700**

利用者数 **3,052,000** 人



日経コンピュータ 2025年9月4日号

顧客満足度調査 2025-2026

ERP (統合基幹業務システム) 部門 第**1**位

OBC、7年連続 通算 18回目の第1位を獲得
(受賞年：2005～2011年、2014年～2017年、2019年～2025年)



日経コンピュータ 2025年9月4日号

顧客満足度調査 2025-2026

人事・HR テックソフト
／サービス部門 第**1**位



日経コンピュータ 2025年3月6日号

パートナー満足度調査 2025 ERP部門 第**1**位

OBC、5年連続 通算 13回目の第1位を獲得

(受賞年：2006年、2008年、2009年、2011年～2013年、2016年、2019年、2021年～2025年)

※本調査は製品ではなく企業を対象にしたものです。※前回は「基幹系ソフト／サービス」部門。

奉行クラウドと奉行クラウドEdgeの5つの強み

1

高い業務レベルに対応

今まで以上の
高品質

機能性・スピード・
操作性

2

業務環境の多様性に対応

いつでも
どこでも

テレワーク
多様な働き方対応

3

業務のデジタル化を
実現する

つながる
ひろがる

データ連携
APIエコノミー

4

プロフェッショナルの支援

職業専門家
ライセンス

専用ライセンスを
標準提供

5

DXを成功に導く

セキュリティ:OBCが提供する3つの安全・安心

多様な業務環境の提供し、業務の生産性を向上させる

1 今まで以上の高品質

従来の奉行シリーズより、機能性・スピード・操作性すべてにおいて、「今まで以上」を実現しています。

従来の機能性に自動化機能を加え
精度と生産性を向上



今までと同じ業務ができる安心に加え、自動化など、「業務のデジタル化」の実現により今まで以上に速く・正確な業務が可能になります。

業務のプロも納得のスピード

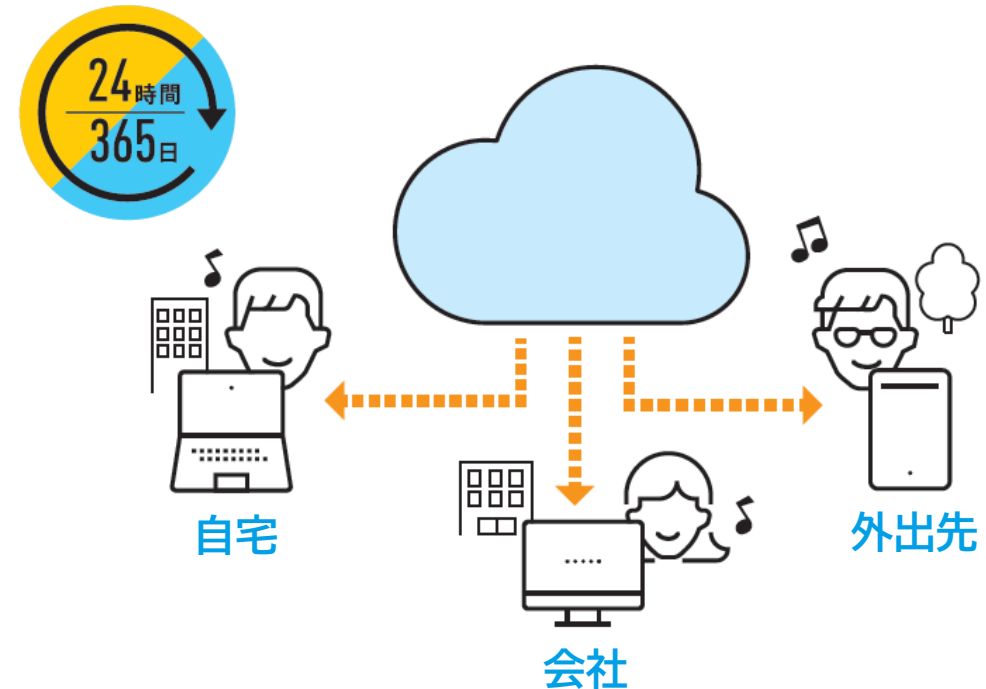


高速処理を実現するAzure SQL Database (Premium)および、操作性を飛躍的に高めるWPF※の採用により、快適な業務を実現します。
※Windows Presentation Foundation

2 いつでも・どこでも

奉行クラウドは、いつでも、どこからでも利用でき、多様な働き方に対応します。

リモートワーク、在宅勤務／テレワークなど、
時間や場所にとらわれない働き方に対応

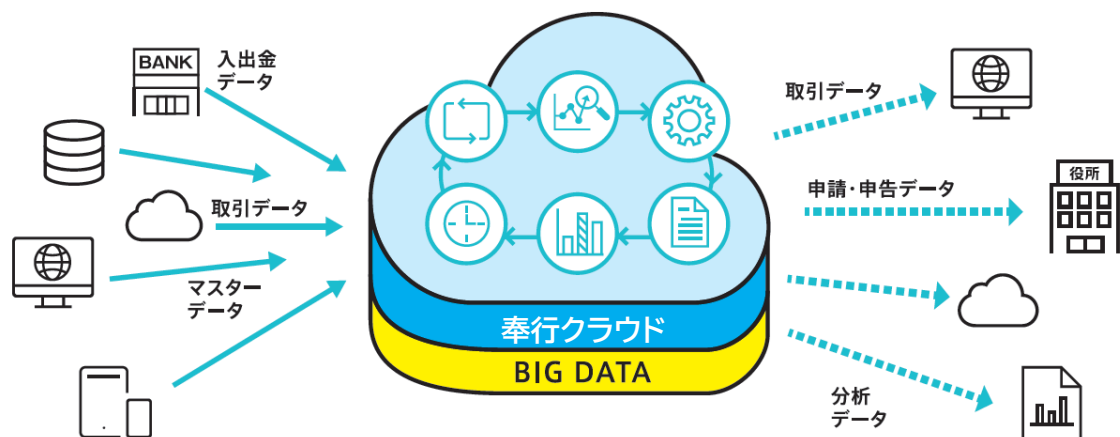


業務をデジタル化(DX)し、より高いレベルで企業をサポートする

3 つながる・ひろがる

システムの垣根を超えて、かんたん・シームレスにデータを自動連携し、幅広い業務をデジタル化します。

データが自動的につながり、
データ受入や入力作業が不要に

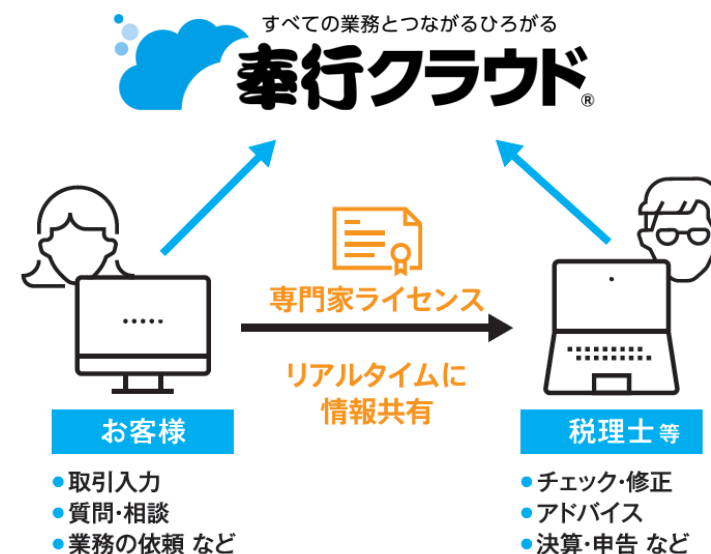


<https://www.obc.co.jp/bugyo-cloud/apiservice>

4 職業専門家ライセンス

税理士・社労士などの職業専門家と一緒に利用できる「専門家ライセンス」を標準提供しています。

プロの支援を
受けながら
業務が可能に



様々な専門家にライセンスを提供可能



5 セキュリティ:OBCが提供する3つの安全・安心

① Azure + SQL Database

が提供するセキュリティ(プラットフォーム)

世界トップレベルセキュリティ

米国国防総省に次ぐサイバー攻撃を防御し、その情報を反映

日本政府選定 ガバメントクラウド

政府が認めた共通利用クラウド環境

日本国内データセンター限定(国内法準拠)

データは国内法が適用される日本国内データセンターにのみ保管

東日本・西日本バックアップ (BCP/6重化)

東日本をメインとし、西日本にバックアップ、それぞれで3重化されます

月間稼働率99.9%保証 (Azure SLA)

Azureのサービスレベルアグリメント



東日本データセンターを中心に、西日本のデータセンターをバックアップセンターとして活用



自動的に3重化

② 奉行クラウドが提供するセキュリティ(サービス)

OBCiDによるアクセス認証・権限設定

一つのIDで複数の奉行クラウドサービスを利用。シングルサインオン対応

暗号化による強固なデータ保護

すべてのデータを暗号化。あらゆる通信をSSLで保護

24時間365日運用監視

利用状況、リソース状況などを自動監視。脅威に対する備えは万全

WAF(Web Application Firewall) + FireWall

WAFにより、様々なサイバー攻撃をブロック。FireWallですべてのサービス境界を防御

定期的な脆弱診断テスト

リリース時、および年1回の定期脆弱診断により、脆弱性を排除



③ OBCが提供するセキュリティ(開発・管理・運用体制)



SOC1/SOC2
(内部統制/セキュリティ)

国際基準による第三者監査評価



ISMAP登録
(奉行クラウド、奉行クラウドEdge)

政府情報システムのためのセキュリティ評価制度



ASMツール評価 (使用ツール: Security Scorecard)
最高グレード「A評価」を取得

外部公表資産のサイバー攻撃耐性を評価

**国内最高レベルの
開発・管理・運用体制**

ISMAP・SOC + ASM評価による運用体制

「データの信頼性」の確保

データの信頼性は最も重要です。Microsoft Azureが提供するクラウドプラットフォーム、SQLデータベース、クラウド開発環境(PaaS)を採用することにより、継続的な「データの信頼性」を確保しています。

研究開発投資の成果を享受

MicrosoftがAIやセキュリティなど新技術に毎年投資する、数千億もの研究開発投資の成果を、奉行クラウド、奉行クラウドEdgeの各製品は自動的に享受することができます

Windowsアプリの使いやすさ

Windowsアプリを意識したユーザーインターフェースになっており、オンプレミスと同等以上のきめ細かい機能性・操作性を実現しています。

奉行クラウドをご利用いただくお客様のスムーズな導入・稼働をご支援します。



＜動画でかんたんにまなべる！＞

奉行まなぼード

奉行クラウドをご利用中のお客様専用サイト「奉行まなぼード」をご用意しています。導入手順はもちろん、稼働後の便利機能や活用Tipsを動画で分かりやすく学ぶため、かんたんに使いこなしていくことができます。



＜お客様の導入をマンツーマンでサポート！＞

導入指導サービス

インストラクターがお客様の導入をご支援します。マンツーマンでご支援するため、お客様の運用や業務をヒアリングした上で最適な方法をご案内いたします！

※別途有償サービスとなります。



＜困ったときも安心！＞

サポートセンター

お困りの際は、お電話でのサポートに加え、Web、FAXでのお問合せも受け付けております。お客様の画面を一緒に見ながら、具体的な操作方法をご案内するリモートサポートもご用意しています。

業務に精通した専任スタッフによる安心サポート

業務レベルに精通した専任スタッフが導入時はもちろん、お客様の様々な運用方法までご相談いただけます。OBCサポートセンターは確実・迅速に疑問にお応えします。

受付時間:月曜日～金曜日 9:30～12:00 / 13:00～17:00
※土曜日・日曜日・祝祭日、年末年始は休業



電話サポート

じっくりサポートを受けたい方向け

会員専用回線で専任オペレーターが丁寧にお問い合わせに対応します。**リモートサポートサービス**のご利用も可能です。

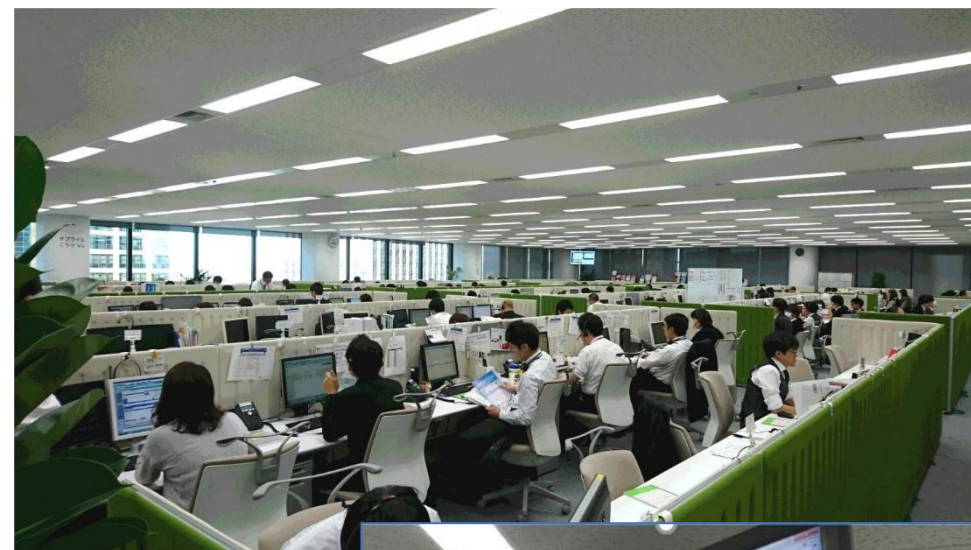


オンラインサポート

回答や履歴を残したい方向け

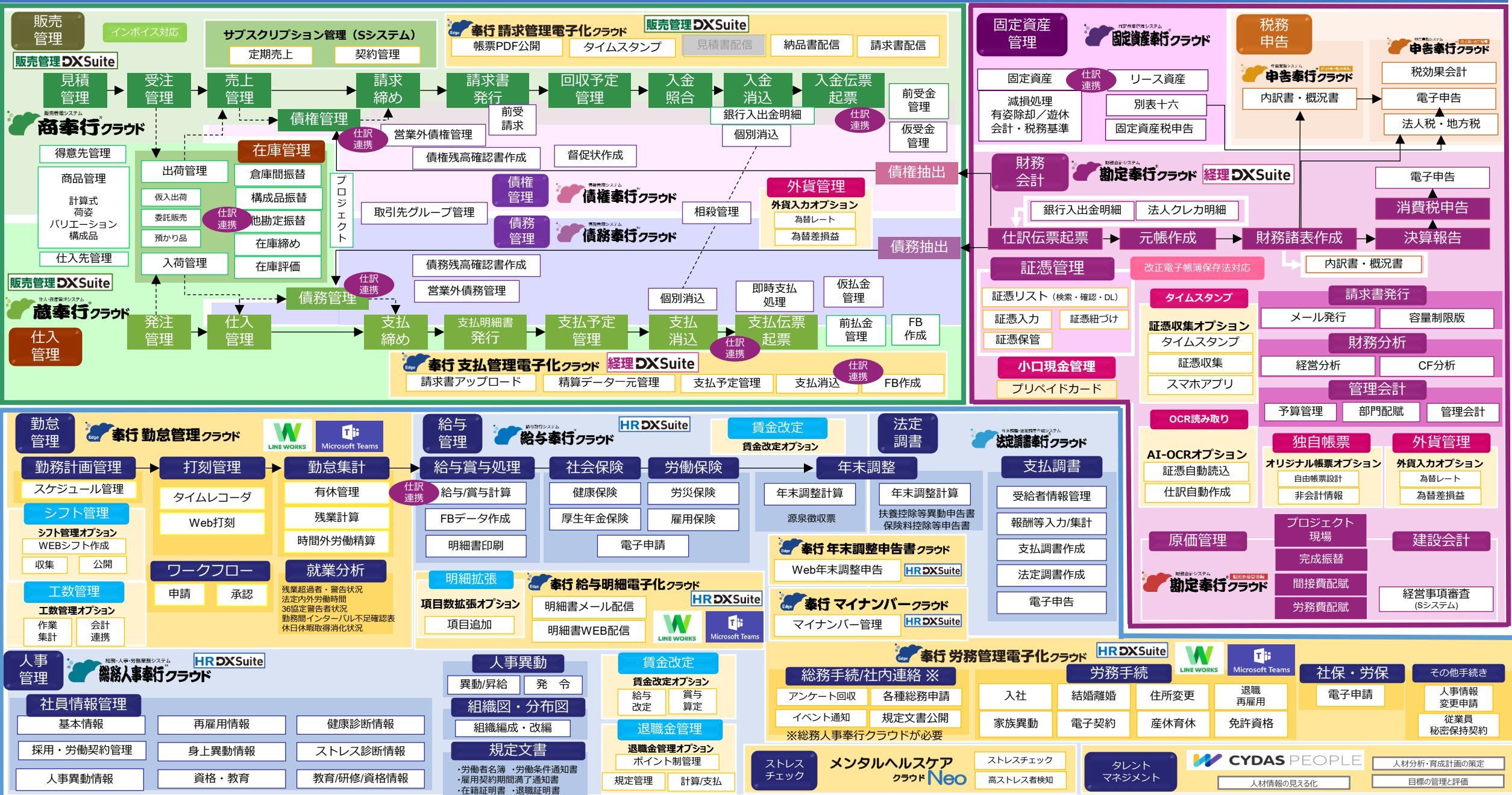
オンライン上のマイページからお問い合わせをいただくことが可能です。過去のお問い合わせ履歴を遡って確認することができます。

約280席のOBCサポートセンター体制



製品ごとの入電／待ち状況をリアルタイムでセンター内に掲出

奉行シリーズ システム全体鳥瞰図



人事労務系 奉行クラウド 業務網羅範囲

すべての業務とつながるひろがる
奉行クラウド 奉行クラウド Edge
最新クラウドプラットフォーム



経営・マネジメントのためのデジタル化

【タレントマネジメント】
企業に必要な
タレントマネジメントの
仕組みをデジタル化

カオナビ

CYDAS PEOPLE

SUZAKU

sai★reco
HRオートメーションシステム

人材情報の見える化

人材分析・育成計画の策定

目標の管理と評価

HR Tech
サービス



従業員のためのデジタル化

【労務管理】
入社から退職までの手続きを
すべてデジタル化

HRDXSuite

奉行 労務管理電子化クラウド

入社	退職
結婚	離婚
産休	育休
家族異動	転勤
高年齢雇用継続給付	住所変更
口座変更	電子申請

入社・異動情報

社員情報



総務人事部門のためのデジタル化

【総務・人事・労務】
あらゆる総務・人事・労務業務を
定型化しデジタル化

HRDXSuite

総務・人事・労務業務システム
総務人事奉行クラウド

社員管理	組織管理	人事異動	組織改編	在職証明書等発行
分析レポート	アンケート回収	イベント・スケジュール通知	規程管理	

【勤怠管理】
打刻・申請から分析・マネジメントまでの
勤怠管理業務をすべてデジタル化

奉行 勤怠管理クラウド

打刻	申請・承認
勤怠・残業集計	休日・休暇管理

【給与】
給与計算から社会保険・年末調整までの
給与業務をすべてデジタル化

HRDXSuite

給与計算システム
給与奉行クラウド

給与・賞与	社会保険
労働保険	年末調整

【法定調書提出】
支払調書・合計表作成から申告までの
法定調書提出業務をデジタル化

年末調整・法定調書作成システム
法定調書奉行クラウド

受給者管理	支払調書
法定調書合計表	電子申告

マイナンバー情報

マイナンバー情報

社員情報

受検履歴

明細情報

申告情報

【マイナンバー管理】
企業内すべてのマイナンバー業務をデジタル化

HRDXSuite

奉行 マイナンバークラウド

収集	保管
利用	削除

【メンタルヘルスケア】
従業員の休職・離職防止の仕組みをデジタル化

メンタルヘルスケア
クラウド Neo

ストレスチェック	セルフケアの促進
メンタル不調者のケア	組織分析

【給与明細配付】
給与業務にかかわる配付業務をデジタル化

HRDXSuite

奉行 給与明細電子化クラウド

給与明細	賞与明細
源泉徴収票	標準報酬決定通知書

【年末調整】
申告書の配付から給与システム入力までの業務をデジタル化

HRDXSuite

奉行 年末調整申告書クラウド

配付・説明	記入・提出	回収・催促
確認・差戻し	給与システムへの入力	申告書の保管

取引入力・自動起票



- 仕訳伝票入力
- 証憑電子保管
- 帳票入力
- 承認申請
- 領収書入力
- 銀行入出金明細入力
- キャッシュレス明細入力

- 仕訳伝票予約
- 業務連携

帳票作成・分析・管理会計



- 仕訳帳
- 元帳
- 日計表
- 合計残高試算表
- 勘定科目内訳表
- 集計表

- 推移表
- 対比表
- 予算管理
- 資金繰り
- 部門配賦

決算・消費税申告/納税



- 決算報告書
- 消費税申告書
- 消費税計算書
- 消費税管理資料
- 税理士添付書面
- 電子申告・電子納税

適格請求書発行

請求伝票入力 メール配信

内訳書・概況書作成

法人事業概況説明書／勘定科目内訳明細書

伝票の項目追加

賃借摘要／伝票摘要

経理DXSuite

勘定奉行



支払管理

- 支払予定表
- 支払消込
- 即時支払
- 仮払金・前払金
- 債務残高確認表
- FBデータ作成

債務奉行



入金管理

- 回収予定表
- 入金消込
- 即時入金
- 仮受金・前受金
- 債権残高確認表
- 滞留債権年齢表

債権奉行

個別原価管理

プロジェクト
間接費配賦
労務費配賦

棚卸振替
プロジェクト台帳

個別原価管理編

建設原価管理

工事管理
間接費配賦
労務費配賦

工事台帳
経営事項審査

建設業編

固定資産管理

固定資産管理
リース資産管理
減価償却費計算

資産台帳
償却資産税申告書
別表16

固定資産奉行

法人税・地方税申告

法人税・地方税申告書
予定申告 電子申告・電子納税
税効果会計

申告奉行

内訳書・概況書作成

法人事業概況説明書
勘定科目内訳明細書

申告奉行

拡張
オプション

業務

証憑収集

タイムスタンプ
証憑登録(申請・承認)

証憑収集

文字認識

AI-OCR

奉行
Edge

業務

管理会計帳票作成

帳票の自由設計 オリジナルグラフ

オリジナル帳票作成

請求書発行

CSV・PDF受入／オリジナルフォーム

請求伝票入力 メール配信／Web配信

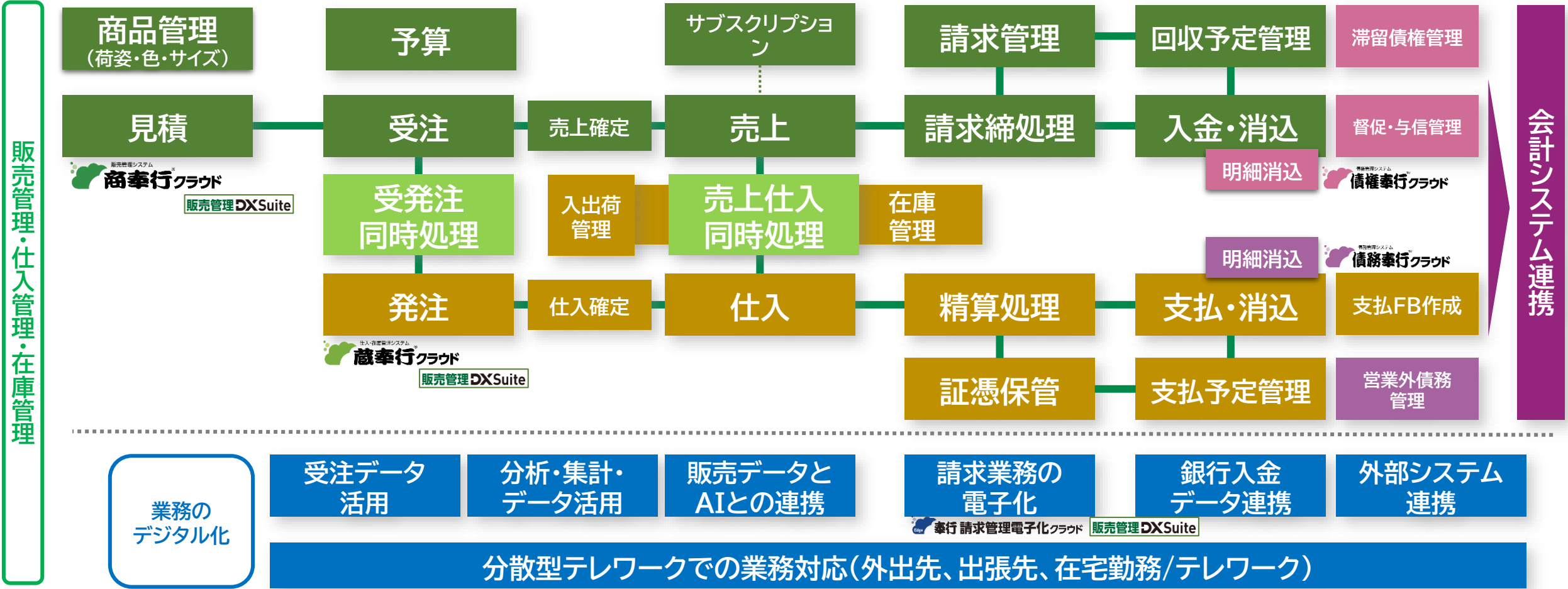
請求管理電子化

請求書受領

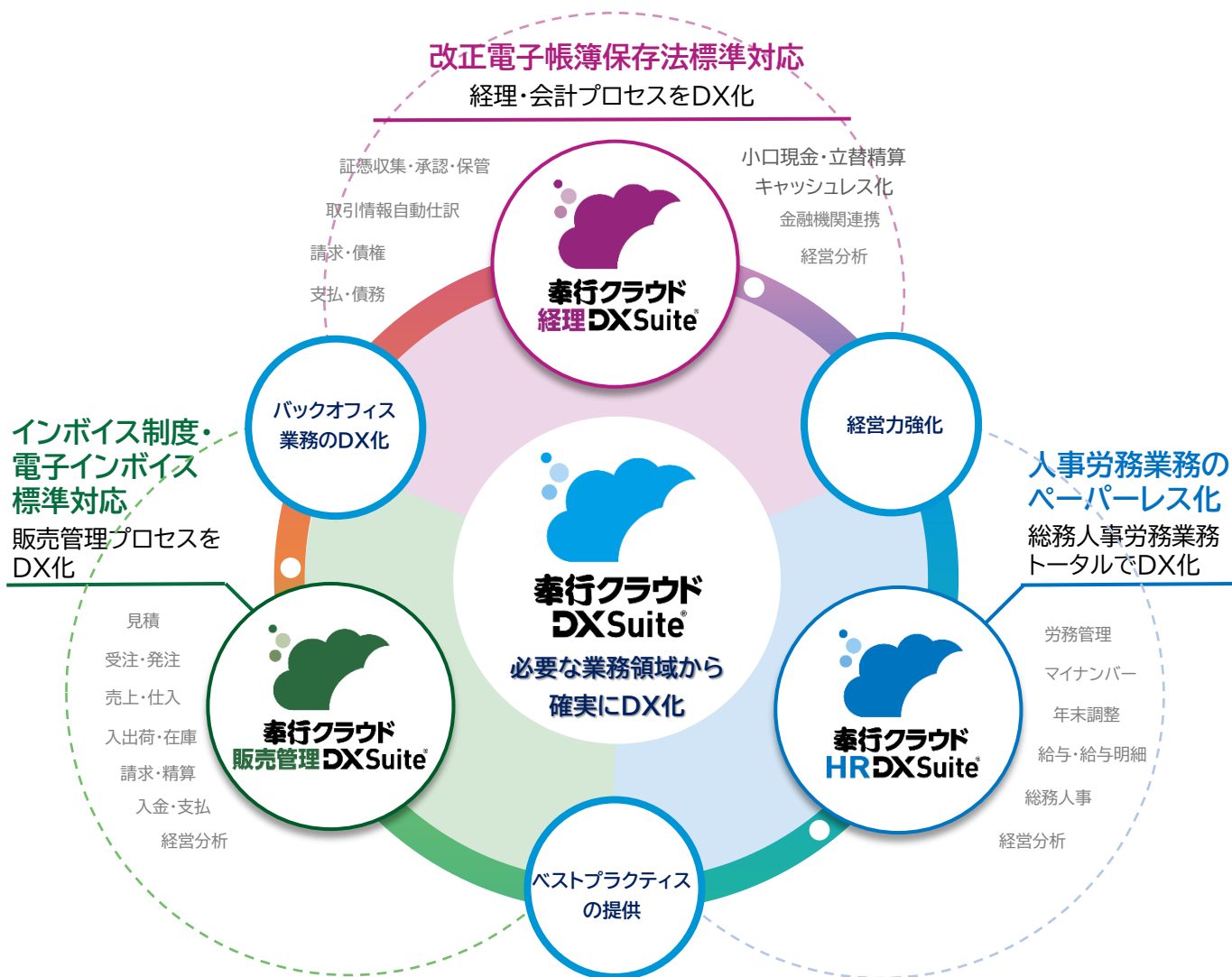
請求書の収集・データ化／支払管理の自動化

支払管理電子化

経理DXSuite

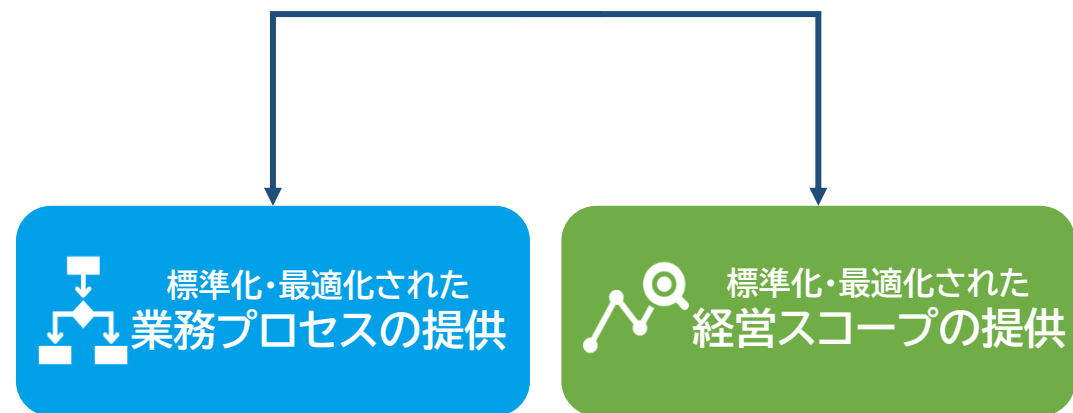


最新制度をもれなく標準搭載し、経営力を強化する「奉行クラウド DX Suite」



奉行クラウド DX Suiteは、業務と経営判断を高度化するためのベストプラクティスによってバックオフィス業務をDX化し、経営力の強化に貢献します。

奉行クラウド DX Suite®
＝ 時代に整合したベストプラクティスの提供



- ビジネスプロセスが短縮される
- 目視のチェックや手入力がなくなる
- 誰でも繰り返し同じ結果が出せる
- リアルタイムに企業の現状を把握できる
- 多角的な視点で情報提供できる
- データの活用ができ、次のアクションがわかる

奉行クラウドサービス連携マップ

株式会社 オービックビジネスコンサルタント

経理・財務会計



販売管理



人事労務



その他



※ 掲載されている各サービスの商品名称及びロゴは各社の商標または登録商標です。

※ 一部、今後連携予定のサービスを含んでいます。

※ 2025年5月現在の情報となります。

連携詳細はWEBで随時更新中！

今すぐチェック



サステナビリティ

価値創造プロセス

ミッション

業務にイノベーションを お客様に感動を

マテリアリティ

ITによる
イノベーション
の推進

環境に配慮した
事業活動の推進

ダイバーシティ
経営の推進

責任ある
企業活動の実行

経営資本
(インプット)

人的資本

- ・ 最適なソリューションを届けるための高度なIT人材
- ・ 0から教育する体制

知的資本

- ・ 創業時から積み上げたノウハウ
- ・ 知的財産（特許、実用新案権等）

社会・関係資本

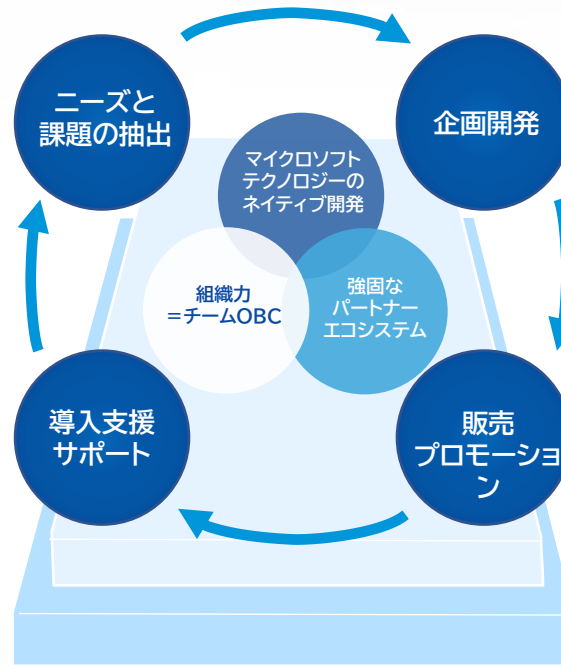
- ・ パートナーエコシステム
- ・ 新しい価値を競争する他社ソリューションとの連携

製造資本

- ・ お客様、パートナーを支える国内のサービス拠点
- ・ 製品開発の内製化
- ・ 安定系な製品開発を行うための開発体制

財務資本

- ・ 持続的な価値創出につながる強固な財務基盤



アウトプット



バックオフィス向け
業務サービスによる
生産性向上



従業員向け
業務サービスによる
業務のデジタル化



導入支援サービス
による導入、運用の
支援



サポートサービス
によりお客様の安心
安全な運用を支援



パートナー
エコシステムの強化

提供価値
(アウトカム)



ITによる
イノベーションの
推進



労働人口の減少
による人材不足
社会に向けた対応



持続可能な
経済の好循環



従業員が
働き甲斐のある
職場の実現



長期的な
企業価値の向上



クリーンな
地球環境の実現

社会貢献



ステークホルダー

顧客

株主

ビジネスパートナー

地域社会

環境

4つの重要テーマと14のマテリアリティ

重要テーマ	マテリアリティ	行動指針	取り組み	SDGs
ITによる イノベーション の推進	品質・お客様満足度の向上	高品質を保ち、常にニーズに対応した製品・サービスを提供し続けます	お客様の要望を製品へ反映することによる利便性の向上、営業・開発メンバーによる充実したサポート体制の構築、製品開発の内製化による高品質なサービスの供給	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
	様々な企業、団体とのパートナーシップ構築による共創	企業の課題解決にパートナーと共に取り組み、共存共栄を目指します	パートナーエコシステムの構築、他企業や諸団体と連携	
	情報セキュリティニーズへの対応	企業が安心してご利用頂けるセキュリティ環境を提供します	マイクロソフトテクノロジーによる世界最高水準のセキュリティの確保 高水準なセキュリティ体制の構築(SOC2® Type2報告書の取得) 情報セキュリティに関する社内教育	
	労働人口減少の解決に貢献する製品・サービスの提供	生産性の向上に寄与する製品・サービスの提供を目指します	業務システム高度化による業務の自動化、クラウドによるリモートアクセス推進による働き方の多様化に対応、APIによる様々な業務サービスとの連携	
ダイバーシ ティ 経営の推進	従業員の健康と安全の確保	従業員が健康で安全に働ける環境をつくります	胃カメラ・インフルエンザ予防接種費用や婦人科オプション検査費用の会社負担、産業医による健康講話の実施、防災グッズの配布、新型コロナウイルス対策のための在宅勤務・時差出勤、ストレスチェックを活用したメンタルヘルスケア	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 10 人や国の不平等をなくそう
	ワークライフバランスの推進	従業員が仕事と家庭の両立を実現し、活躍しながら長く働き続ける環境をつくります	長時間労働の抑制、育休取得の推進、時短勤務期間を小学校6年生まで延長	
	多様な人材の活用を推進	オープンでチャンスがある職場づくりを目指します	男女平等の採用・人事制度、障害者雇用、障がい者に対する定着支援	
	教育・研修活動の充実	従業員の成長をサポートします	スキル研修やマインド研修の定期的な実施、従業員自らが率先して学べる環境の提供	
環境に配慮した事業活動の推進	業務のデジタル化による資源削減の推進	業務をデジタル化することによる紙の削減を目指します	業務をデジタル化できるクラウドサービスの提供、社内業務のデジタル化を推進	13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう
	CO2排出量の低減	オンラインやクラウドサービスの活用により、環境負荷の低減に努めます	リモートデモやリモートサポート、オンラインカンファレンスによるデジタルマーケティング等により移動を低減、クラウドサービスの活用によるサーバー台数の削減	
責任ある 企業活動の 実行	ステークホルダー(顧客、株主、ビジネスパートナー、地域社会、環境)との積極的な対話	ステークホルダーの声を積極的に取り入れるオープン経営に努めます	ホームページ等を通じた適切な情報開示、お客様窓口の設置、社内SNS・各種ツールを利用した情報提供、社内イベントの開催	16 平和と公正をすべての人に
	BCPの推進	災害時に損害を最小限に留めつつ、事業の継続を維持できる体制を構築します	災害対策委員会の設置、災害時対応マニュアルの策定 安否確認サービスの導入、防災訓練の定期的な実施	
	法令遵守	役員・従業員一人ひとりが、法令や社内ルールなどを遵守し高い倫理観に基づいた企業活動を行います	コンプライアンスマニュアル・手引きの作成と徹底(反社会的勢力、下請法、腐敗防止等)、個人情報保護方針(プライバシーポリシー)の遵守、ハラスメント防止ポリシーの設定、コンプライアンスに関する社内教育	
	企業経営のチェック体制の構築	経営における透明性の向上と経営目標の達成に向けた経営監視機能を強化します	内部統制委員会の設置、JSOX(内部監査)の実施、内部通報制度の設置、財務報告の信頼性や情報セキュリティの管理体制の強化(SOC1® Type2、SOC2® Type2報告書の取得)、コーポレートガバナンスコードへの対応	

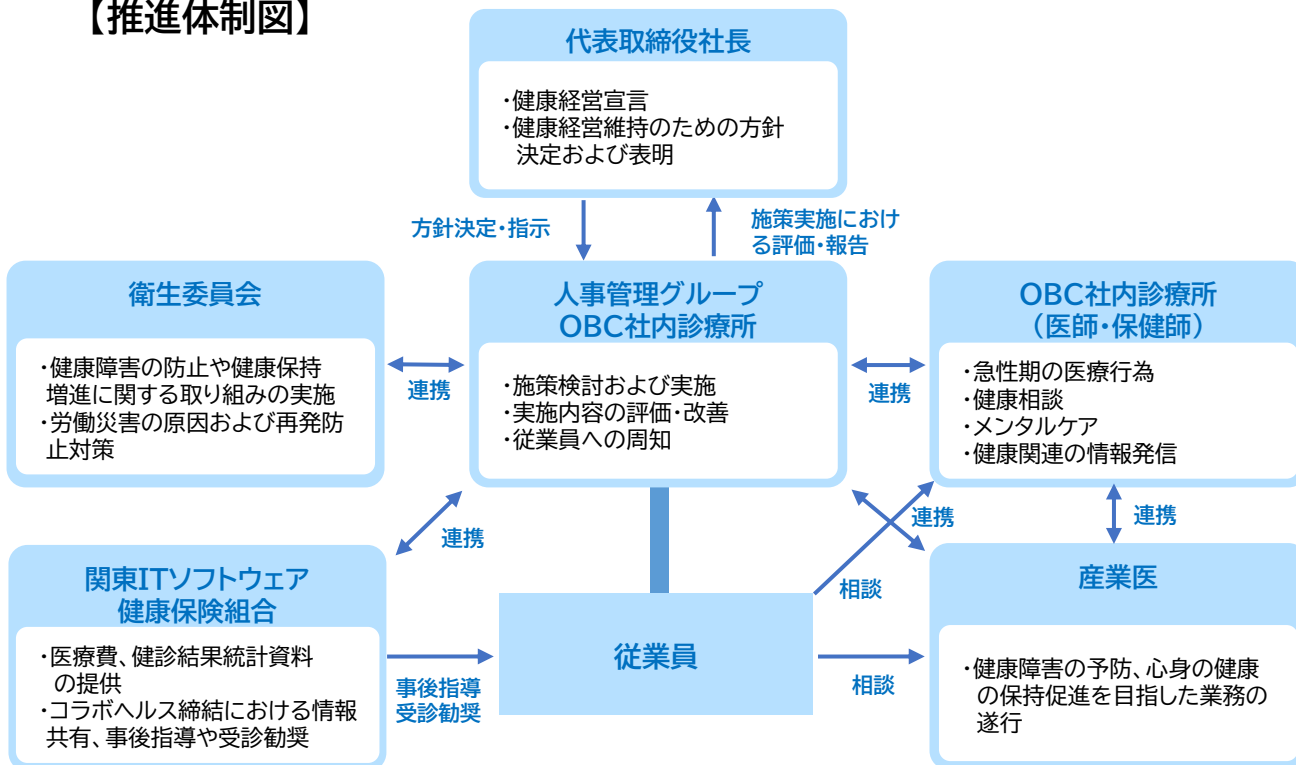
		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
環境	Scope1 排出量(t-CO2)	—	7.21	8.32	9.24	10.19
	Scope2 排出量(t-CO2)	—	881.67	905.74	900.13	957.66
社会	社員数(名)	898	908	918	941	995
	女性社員比率(%)	35	36	36	38	38
	採用者数(名)	77	65	68	90	87
	平均勤続年数(年)	10.1	11.4	11.8	11.8	11.8
	離職率(%)	2.2	6.4	6.1	6.3	3.2
	育児休業取得者数(名)	39	42	58	43	42
	男性従業員の育児休業取得率(%)	—	—	97	89	114
	育児短時間勤務制度利用者数(名)	65	78	69	78	78
	年次有給休暇取得率(%)	53	65	75	81	74
	一人あたり月平均残業時間(時間)	19.1	18.5	20.4	24.0	24.1
ガバナンス	取締役合計数(名)	10	9	9	9	9
	社外取締役数(名)	5	5	5	5	5
	取締役会開催数(回)	3	7	7	9	8
	社外取締役の取締役会平均出席率(%)	93	91	97	84	97
	社外監査役の取締役会平均出席率(%)	100	100	100	100	100
	コンプライアンス研修(eラーニング)受講率(%)	100	100	100	100	100
	情報セキュリティ教育受講者率(%)	100	100	100	100	100

健康経営宣言

オービックビジネスコンサルタントは、社員が心身ともに健康で、能力を最大限に発揮することが、企業の発展に繋がると考えます。

この考えのもと、時代の変化に応じた健康増進施策の検討・推進を会社、社員、その家族が一体となって取り組み、オープンでフェアな働きやすい環境づくりを目指します。

【推進体制図】



「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)ホワイト500」の認定を取得



■「OBC社内診療所」と最近の健康経営への取り組みについて

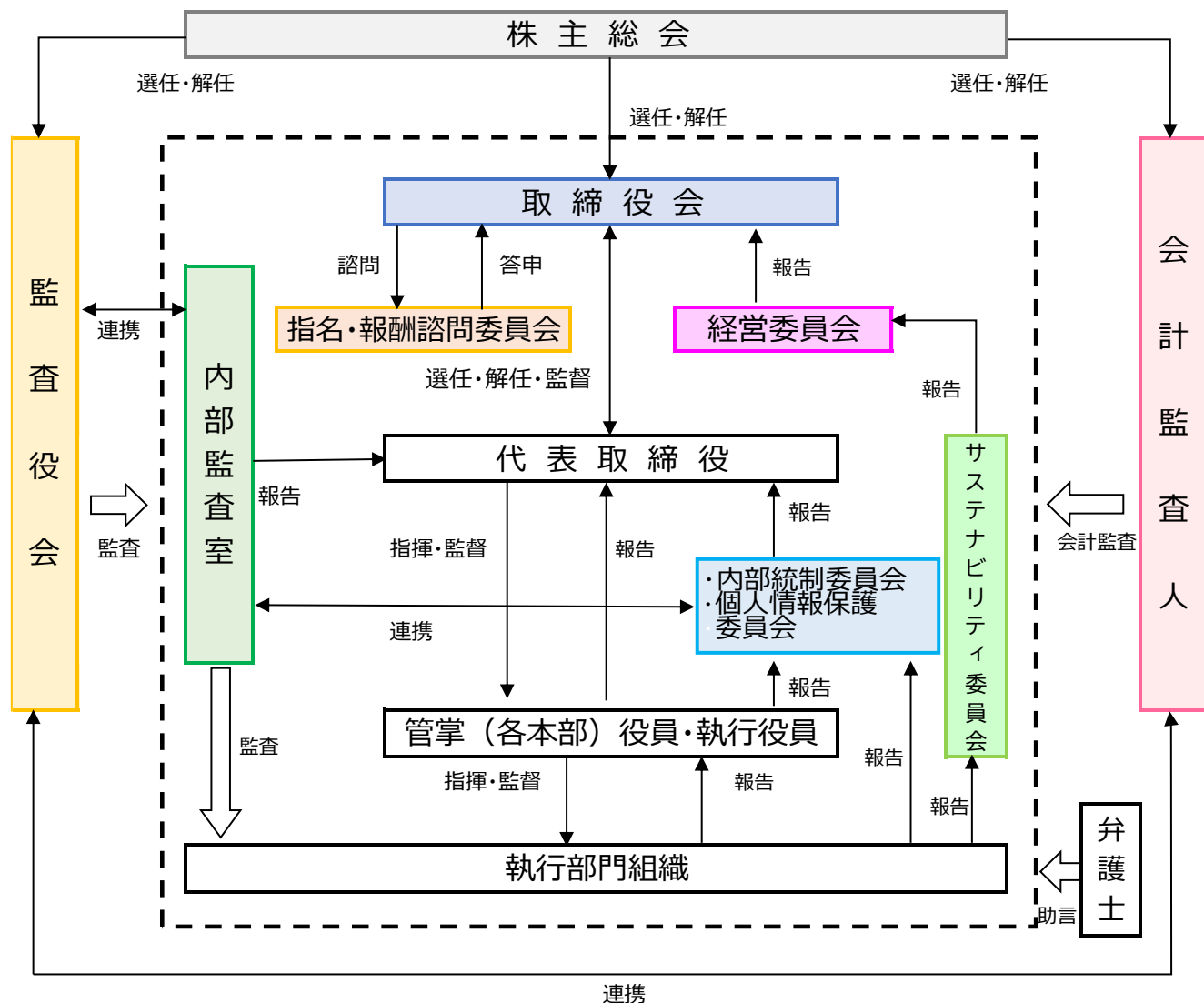
2022年4月に1000人規模の企業では数少ない、医師が常駐する「OBC社内診療所」を開設し、社員に対して安心・安全と健康を提供する存在として、「社員とその家族の健康カウンセラー」、「健康の問題に向き合う診療機関」、「予防・未病への取り組みを行う専門家」の3つのサービスの提供を開始しました。

「OBC社内診療所」は、従来の健康管理室とは異なり、クリニックとしての機能を持つ施設です。また、大学病院の地域医療連携協力機関としても登録されており、これにより緊急時には大学病院への紹介／連携が迅速に行われ、社員ならびそのご家族は高度かつ専門的な治療を受けられる体制となっています。



ガバナンス体制

(企業統治の体制)



株主総会

会社の最高意思決定機関であり、会社法で規定する事項及び定款で定めた事項について決議する。

取締役会

当社の企業価値を高めるための業務執行の決定機関であり、経営監督機関として業務執行機能の監督を行う。

指名・報酬諮問委員会

取締役会からの諮問に応じて、指名及び報酬等に係る事項について審議し、取締役会への答申を行う。

経営委員会

経営に関する基本方針、戦略を討議し、決定するとともに、経営執行に関する重要事項を決定する。

サステナビリティ委員会

サステナビリティに係る取り組みの議論を行う。

監査役会

監査機能を担い、会社の経営方針に則り、監査役監査基準を指針とし、会社経営の目標達成、経営管理の改善・向上に資する監査を実施する。

内部統制委員会・個人情報保護委員会

組織横断的対応かつ継続的な監視を目的として、監査結果を取締役会及び監査役会へ報告する。

内部監査室

社内の会計監査、業務監査、業務の改善提案を行うとともに、監査結果を監査役会へ報告を行う。

会計監査人

監査役及び内部監査人は、会計監査人の助言や提言をもとに内部統制の状況等を把握し、監査役会へ報告を行う。



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD.